

令和5年度

# 教育計画

心より

新潟県立江南高等特別支援学校

# 目 次

校歌・創立10周年記念歌・創立20周年記念愛唱歌	2
I 沿革	4
II 教育目標	
1 教育概要(グランドデザイン)	5
2 学校経営の重点を達成するための方策	6
III 教育課程	
1 編成の基本方針	7
2 留意事項	7
3 構造図	7
4 週時数配当表	8
5 時程表	8
6 学校行事・授業日数一覧表	9
7 類型部の計画	10
8 指導計画の大綱	18
○指導部の計画	
総合部 職業生活部 家庭生活部 地域生活部 音楽部	
美術部 保健体育部 特別活動部 日生・自立活動部	
交流共同学習部 道徳・人権同和教育部	
○生徒指導の大綱 ○進路指導の大綱 ○学校保健安全計画 ○特別活動の全体計画	
○道徳教育及び人権教育、同和教育の全体計画 ○総合的な探究の時間の全体計画	
○キャリア教育の全体計画 ○交流及び共同学習の全体計画 ○ICT教育の全体計画	
○UDLの全体計画 ○NIEの全体計画	
IV 学校運営組織	
1 校務分掌一覧	48
2 運営部の計画	49
教務部 研究推進部 生活支援部 進路指導部 地域支援部	
登下校部 保健・安全部 視聴覚部 情報・広報部 給食・庶務部	
V 寄宿舎の教育	
1 寄宿舎生の実態	59
2 目標	59
3 指導の方針	59
4 行事等	60
5 日課	60
6 各分掌の運営(総務部・情報研修部・庶務会計部・自治指導部・安全防災部)	61
7 キャリア教育プログラム(生活訓練G・自立訓練G)	66
VI 生徒の概要	68
VII 職員構成	68
VIII センターとしての役割	69

## <校章の由来>



特別支援教育においては、「家庭」をベースにして「学校」と「福祉等の関係機関」の三者の緊密な連携のもとで、その目的の達成に近づきます。

この三者の在り方を「連携のトライアングル」とし、その中から力強く羽ばたき、自立していく本校の生徒を創立時の養護学校の「Y」の文字で図案化し、象徴しています。  
(デザイン 初代校長 坂井 信也)

# 新潟県立江南高等特別支援学校「校歌」

作詞 安藤耕平  
作曲 青木昌巳

*♩ = 95* 力強く *mf*

ゆ た けきみの りのこし じのはら に せ いきみな  
かにみー ゆるやひ このみね に のぞみたく

*f*

ぎるわこ うどわれ らだい ちをつー よーくふみ しめなが  
してわこ うどわれ らきび しきみー ちーにたゆ まずいど

*mf* *f* 1. 2. *mf*

ら と もにかた らーんあした のたーめ に きら  
み と もにうた わーんあした をめーざ はる し

*legato* *mf*

めくひと みーよたなび くかみ よ あ したにむ かいいてい

*ff* *f rit.*

ぎ あゆみゆか ん

## 校歌

作詞 安藤耕平  
作曲 青木昌巳

豊けき実の越路の原に  
生気みなぎる若人われら  
大地を強く踏みぬながる  
ともに語らん  
明日のために

遙かに見ゆる弥彦の峰に  
望みたくして若人われら  
厳き道にたゆまずいどみ  
ともに歌わん  
明日をめぐし

オラめくひとみよ  
たなびく影友よ  
明日に向かい  
歩みわかん

10周年記念歌

## 無限大の未来へ

一 大好き友だち やさしい先生

みんなの歌声 笑顔あふれる教室

元氣 バクッ！

ぼくら仲間さ いつの日も

夢と希望を風にのせサア いっしょに！

無限大の未来へ行ってみようよ

二 燃える体育祭 楽しいYOYO祭

みんなで宿泊 思い出あふれる学校

勇気 バクッ！

ぼくら仲間さ いつの日も

夢と希望をふくらませサア いっしょに！

無限大の未来へ行ってみようよ

無限大の未来へ行ってみようよ

20周年記念愛唱歌

## 輝く未来を

一 輝く未来を めざし わたしは 今を生きる

夢高く 空を見上げよう 光る風 吹いている

二 輝く未来を みつめ あなたは 心燃やす

美しい 夜空見上げよう 夢の星 煌めいて

未来へと続く道は いたみ かなしみ あるけど

ドアを開けると生まれる 輝く瞬間

三 輝く未来を胸に 今こそ 一人で立ちとう

YOYO 遙々と空に掲げよう

夢の虹 さあ！



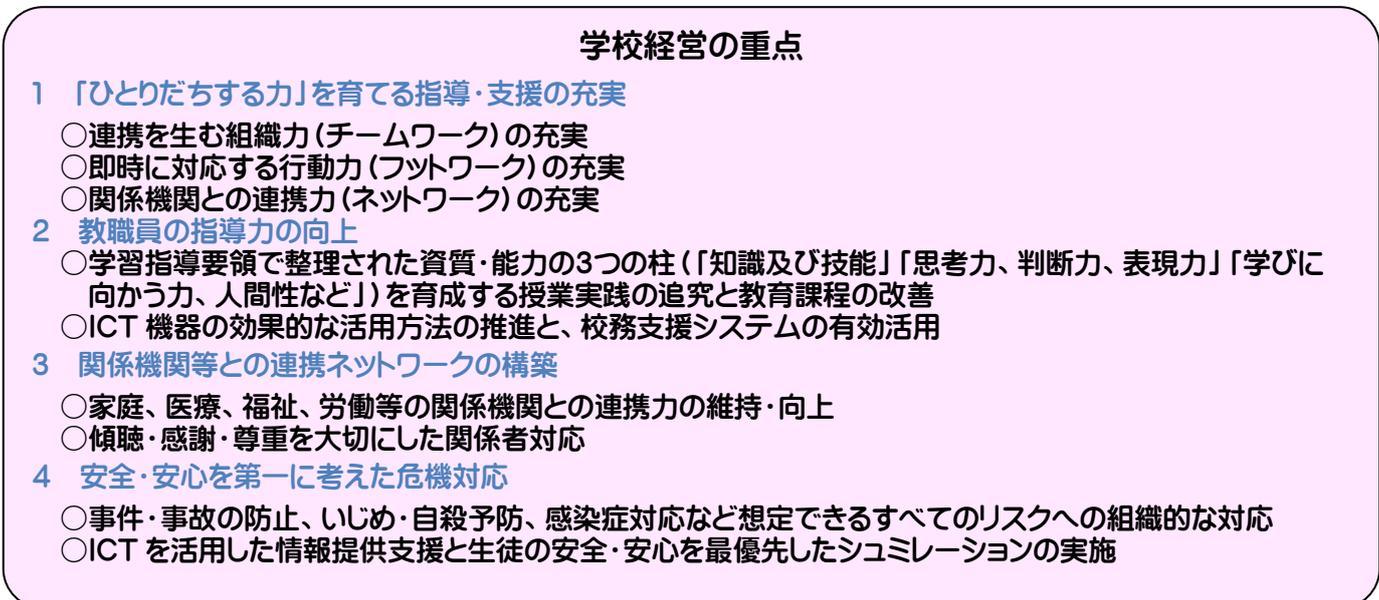
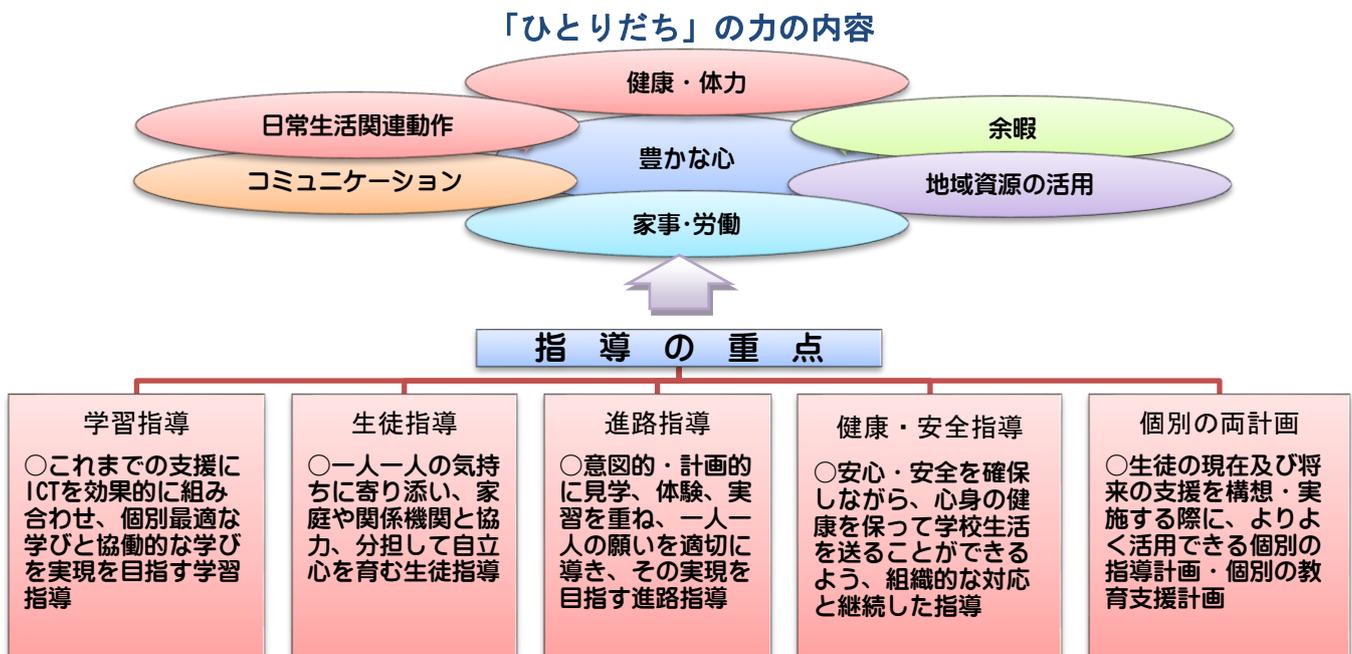
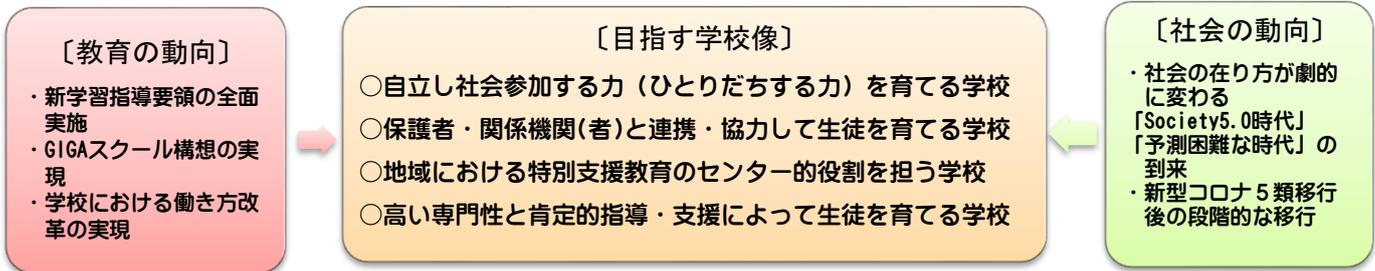
20周年記念イメージキャラクター  
コーナちゃん

# I 沿革

H	2.	7.	3	下越地区に知的障害養護学校高等部の設置検討を知事表明（県議会本会議）
	3.	5.	24	高等部設置調査検討委員会発足
		9.	18	設置場所を「亀田駅裏地区」に選定
	1	1.	25	知的障害養護学校高等部設置基本構想ならびに（仮称）高等養護学校設置計画を教育委員会で承認
	1	2.	5	平成6年度に1学年4学級規模の高等部単独校を設置すると発表 なお、暫定措置として、月々岡養護学校に平成4年度から1学級ずつ増設すると知事表明（県議会本会議）
	4.	3.	13	基本設計に着手
	5.	3.	26	校舎建築着工
		4.	1	（仮称）高等養護学校開設準備担当発令（義務教育課内）坂井信也、富山千之
		4.	7	校名を「新潟県立高等養護学校」に決定（教育委員会）
		7.	15	県立学校条例一部改正 公布
		7.	20	学校の位置・名称等 教育委員会告示
		8.	1	学校開設（義務教育課内） 職員発令（校長－坂井信也、教頭－佐藤 仁、事務長－富山千之）
	1	2.	20	寄宿舎竣工引き渡し
	6.	1.	24	第1回入学者選抜（合格発表1月31日）
		3.	15	校舎竣工 義務教育課内より学校へ移転（3月18日）
		4.	1	開校〔1学年－4学級（40人）、2学年－1学級（10人）、3学年－1学級（9人）〕職員発令37人 初代校長着任（坂井信也）
		4.	12	開校式・第1回入学式举行 校旗樹立、校歌発表（作詞：安藤耕平 作曲：青木昌巳）
		9.	10	グラウンド、農耕実習地整備完了
	1	1.	15	植栽事業完了
	1	2.	12	屋外実習棟竣工
	7.	3.	17	第1回 卒業式举行
	8.	4.	1	1学年4学級 全校12学級
		9.	30	県高等部整備計画の見直しに伴い、10年度に重複学級設置決定
	1	0.	3. 26	重複棟竣工（重複教室5、普通教室3、自立活動室1、職員室1、専用玄関1）
		4.	1	重複障害学級開設（2学級） 2代校長着任（宮島 隆）
	1	2.	4. 1	普通学級1学年5学級15学級完了、重複学級5学級完了
	1	3.	4. 1	3代校長着任（尾方 洸）
	1	5.	11. 16	創立10周年記念式举行
	1	8.	4. 1	4代校長着任（湯浅 優）
	2	0.	4. 1	5代校長着任（佐藤 高志）
	2	1.	9. 26	第49回国民体育大会トキめき新潟国体式典前演技参加
	2	1.	10. 10	第9回全国障害者スポーツ大会トキめき新潟大会歓迎演技参加
	2	2.	4. 1	6代校長着任（本間 直也）
	2	3.	4. 1	校名を「新潟県立江南高等特別支援学校」に変更 職業学級開設 第1学年に2学級（20人）設置
	2	4.	4. 1	7代校長着任（佐藤 昇誠）
	2	5.	11. 10	創立20周年記念式典举行
	2	7.	4. 1	8代校長着任（外山 武夫）
	2	9.	4. 1	9代校長着任（今井 聡己）
	3	0.	3. 14	エレベーター設置
R	3.	4.	1	10代校長着任（根津 博人）
R	5.	4.	1	11代校長着任（山田 澄人）
R	5.	5.	1	現在

# 令和5年度 新潟県立江南高等特別支援学校/川岸分校

## グランドデザイン



## 1 「ひとりだちする力」を育てる指導・支援の充実

視 点〔関連する部〕	実 施 事 項	到 達 目 標
<input type="checkbox"/> 連携を生む組織力（チームワーク）の充実 <input type="checkbox"/> 即時に対応する行動力（フットワーク）の充実 <input type="checkbox"/> 関係機関との連携力（ネットワーク）の充実 〔類型部〕〔舎務部〕 〔研究推進部〕 〔情報広報部〕	<input type="checkbox"/> 目的を焦点化し、日常の取組に還元できる校内研修の実施 <input type="checkbox"/> ICT（タブレット、電子黒板、リモート等）の活用 <input type="checkbox"/> 発達障害、自閉症スペクトラム等の各種障害に関する研修と指導・支援の実践 <input type="checkbox"/> いじめをしない、許さない、命を大切にす意識を醸成する指導・支援	<input type="checkbox"/> 共通理解に基づいた全教職員の積極的な参加 <input type="checkbox"/> ICTを活用した授業実践の充実と操作力の向上 <input type="checkbox"/> 生徒の障害特性等を踏まえた、指導・支援の適切化と体制の構築 <input type="checkbox"/> いじめ対応マニュアルに沿った迅速で組織的な対応

## 2 教職員の指導力の向上

達成の視点〔関連する部〕	実 施 事 項	到 達 目 標
<input type="checkbox"/> 新学習指導要領で整理された資質・能力の3つの柱（「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力」「学びに向かう力、人間性など」）を育成する授業実践の追究 <input type="checkbox"/> ICT機器の効果的な活用方法の推進と、校務支援システムの有効活用 〔類型部〕〔舎務部〕 〔行事別委員会〕〔教務部〕	<input type="checkbox"/> 新学習指導要領の主旨を受け、各類型（職業、職業自立A・B、生活技能）における教育課程の編成・実施・評価・改善 <input type="checkbox"/> 寄宿舎教育の類型別の支援内容の評価・改善 <input type="checkbox"/> コロナ5類移行を踏まえた体育祭・Y O Y祭等の行事の実施・評価・改善 <input type="checkbox"/> 校務支援システムの導入に伴う校務の実施・評価・改善	<input type="checkbox"/> 「学ぶ楽しさ」「分かる喜び」が実感でき、「学び合い」のある授業づくりの進展 <input type="checkbox"/> 寄宿舎教育の支援内容の明確化 <input type="checkbox"/> 安心・安全な行事運営とICTを活用した活動の充実 <input type="checkbox"/> 校務支援システムのスムーズな導入と業務改善につながる活用

## 3 関係機関等との連携ネットワークの構築

達成の視点〔関連する部〕	実 施 事 項	到 達 目 標
<input type="checkbox"/> 学校、福祉、労働、行政、企業等関係機関、保護者との連携 <input type="checkbox"/> 傾聴・感謝・尊重を大切にした関係者対応 〔類型部〕〔進路指導部〕 〔生活支援部〕	<input type="checkbox"/> 情報交換会、ケース会議等の設定 <input type="checkbox"/> 企業・行政機関等の新規実習先の開拓 <input type="checkbox"/> 地域の障害児・者の支援団体との連携	<input type="checkbox"/> タイムリーな会議等の実施 <input type="checkbox"/> 新規実習先での職場実習の実施 <input type="checkbox"/> 要請に応じた支援の実施

## 4 安全・安心を第一に考えた危機対応

達成の視点〔関連する部〕	実 施 事 項	到 達 目 標
<input type="checkbox"/> 事件・事故、いじめ・自殺、感染症など、想定できるすべてのリスクへの組織的な対応 <input type="checkbox"/> ICTを活用した情報提供支援と生徒の安全・安心を最優先したシミュレーションの実施 〔類型部〕〔舎務部〕	<input type="checkbox"/> 報告・連絡・相談が迅速、確実に行われる組織体制の構築 <input type="checkbox"/> 対応マニュアルの共通理解と確実な実施 <input type="checkbox"/> HPやメール等による情報提供支援	<input type="checkbox"/> 通知等に基づく適切な判断と対応の実施 <input type="checkbox"/> ポイントを絞った短時間の会議の実施 <input type="checkbox"/> マチコミメールの全員登録と効果的な情報提供

### Ⅲ 教育課程

#### 1 編成の基本方針

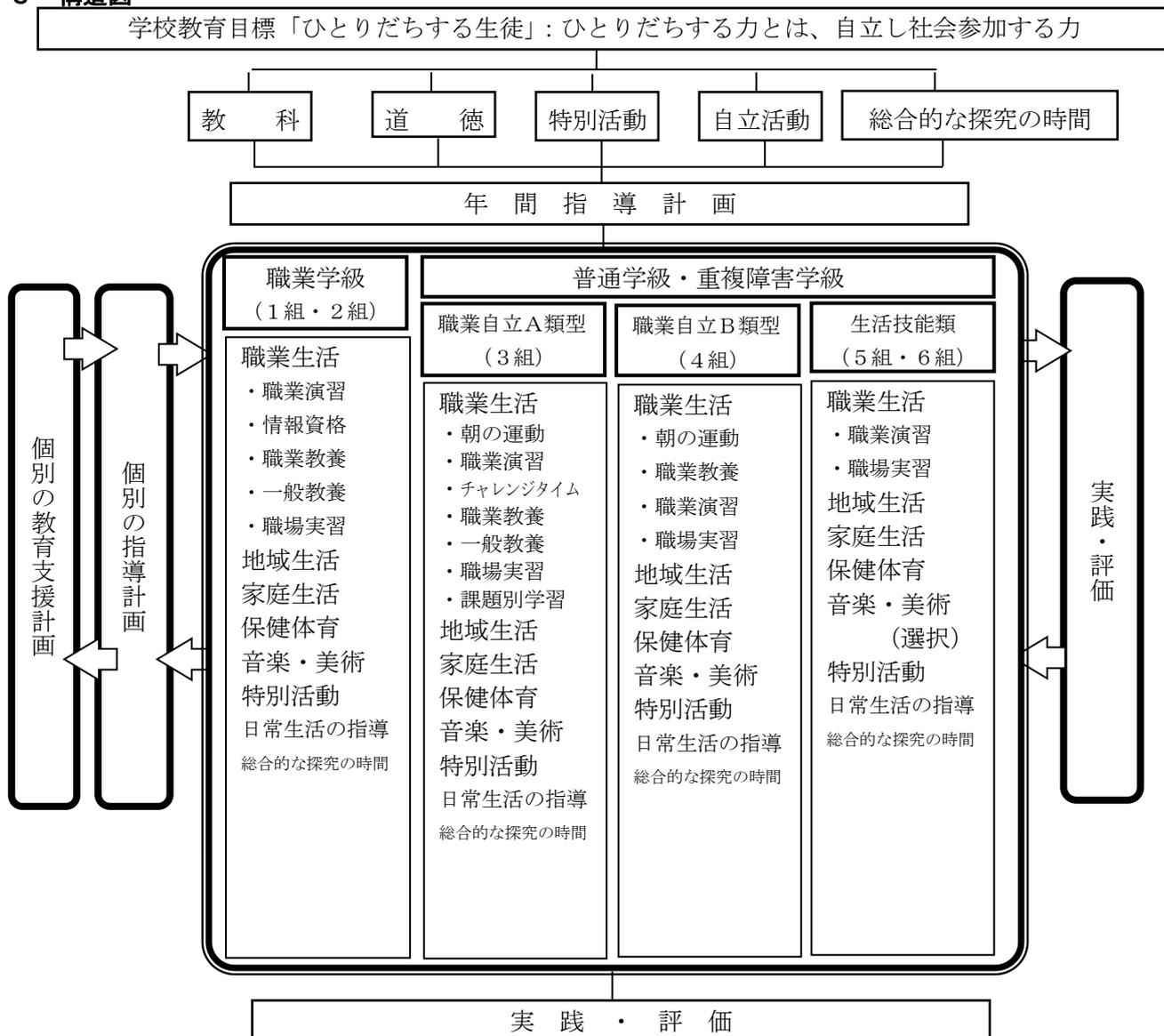
学校教育目標達成に向けて、下記の事項を基本として編成する。

- (1) 全教育活動を通して、職業自立と社会参加に必要な知識、技能、態度及び習慣の育成を目指す。
- (2) 一人一人の教育的ニーズ、地域の実態、社会から求められる力、卒業後の進路や青年期の特性を十分考慮して調和のとれた育成を目指し、教育課程の類型化及び教育内容の重点化、焦点化を図る。
- (3) 各教科、道徳、特別活動、自立活動、総合的な探究の時間の5分野で編成する。道徳及び自立活動は全教育活動を通して行う。
- (4) より効果的に学習することができるように教科・領域を合わせた指導を教育課程の中核に位置付ける。
- (5) 法令及び学習指導要領に基づいて編成する。

#### 2 留意事項

- (1) 全教育活動において、高等部生徒としての自覚と自主性を高める支援を心掛ける。
- (2) 各関係機関との連携を積極的に図り、指導内容の選定や学習活動の構想、展開の工夫をする。
- (3) 普通・重複障害学級においては、生徒一人一人の卒業後の進路を見据えて、より個に応じた支援を行っていくために、個々の生徒の実態や課題・進路希望等に応じて生徒を3つの類型に分けて、学級を編成する。

#### 3 構造図



#### 4 週時数配当表(1～3年の配當時数は同じ)

職業学級(1・2組)

日常生活の指導	3.2
職業生活	13.5
地域生活	1.3
音楽	1.3
美術	
保健体育	5.1
家庭生活	1.3
特別活動	3.3
総合的な探究の時間	※
合計	29

職業自立A類型(3組)

日常生活の指導	3.7
職業生活	14.5
家庭生活	1.3
地域生活	2.1
音楽	1.3
美術	
保健体育	2.7
特別活動	3.4
総合的な探究の時間	※
合計	29

職業自立B類型(4組)

日常生活の指導	5.6
職業生活	11.1
家庭生活	1.4
地域生活	5.7
音楽	1.1
美術	
保健体育	2.6
特別活動	1.5
総合的な探究の時間	※
合計	29

生活技能類型(5・6組)

日常生活の指導	9.9
職業生活	7.6
家庭生活	1.2
地域生活	2.7
音楽	選択
美術	1.3
保健体育	4.4
特別活動	1.9
総合的な探究の時間	※
合計	29

※総合的な探究の時間は時期に応じて集中的に実施する(年間25単位時間)。

詳しくは、「総合的な探究の時間の全体計画」(41ページ)参照

#### 5 時程表

職業学級

	月～木曜日	金曜日
登校	～9:10	～9:10
マラソン	9:10～9:40	9:10～9:40
SHR	9:40～10:00	9:40～10:00
1校時	10:10～11:00	10:00～10:50
2校時	11:10～12:00	10:50～12:00
給食・昼休み	12:00～13:00	12:00～13:00
3校時	13:00～13:40	13:00～13:40
4校時	13:50～14:25	13:50～14:10
5校時	14:25～15:00	SHR
清掃	15:05～15:20	14:10～14:45
SHR	15:20～15:45	下校 14:45
下校	15:45	

普通・重複障害学級

	月～木曜日	金曜日
登校	～9:10	～9:10
SHR	9:10～9:30	9:10～9:30
1校時	9:30～10:50	9:30～10:50
2校時	3・4組 10:50～12:00	3・4組 10:50～12:00
	5・6組 10:50～11:40	5・6組 10:50～11:40
	3・4組 12:00～13:00	3・4組 12:00～13:00
給食・昼休み	5・6組 11:45～13:00	5・6組 11:45～13:00
	3校時	13:00～13:40
	4校時	13:50～14:25
5校時	14:25～15:00	SHR
清掃	15:05～15:20	14:10～14:45
SHR	15:20～15:40	下校 14:45
下校	15:45	

令和5年度 江南高等特別支援学校 年間行事予定

2023/4 現在

曜	4月	曜	5月	曜	6月	曜	7月	曜	8月	曜	9月	曜	10月	曜	11月	曜	12月	曜	1月	曜	2月	曜	3月			
1土		1月	個人懇談①14:45下校 体育祭リハーサル	1木	色覚検査(1年1・2組)	1土		1金	始業式 12:45下校	1日		1水		1金		1月	元日	1木	1月	1木	1金	1土		1金	1土	
2日		2火	体育祭前日準備	2金	色覚検査(1年3・4組)	2日		2土		2月		2木		2土		2月	個人懇談③14:45下校	2火	2火	2金	2土	2日	2土	2日	2土	
3月		3木	憲法記念日 体育祭12:45下校 雨天月曜授業	3土		3月	PTA寄宿舎祭	3日		3火		3木		3土		3日	文化の日	3水	3水	3金	3土	3日	3土	3日	3土	
4火		4木	みどりの日	4日		4火		4金	安全点検日	4月	江南タイム 全校登下校指導	4水		4土		4日	江南タイム	4木	4木	4金	4土	4日	4土	4日	4土	
5水	入学説明会PM	5金	こどもの日	5月	江南タイム	5水		5土		5火		5木		5日		5火		5金	5金	5土	5月	5月	5火	5土	5日	5火
6木		6土		6火	色覚検査(1年5・6組)	6日		6木		6日		6水	ワープロエクセル検定②	6金	江南タイム 個人懇談③14:45下校	6土		6火	6火	6金	6土	6月	6火	6土	6日	6水
7金	新任・始業・入学式 12:45下校 1年生 11:55下校 昼食なし	7日		7水	耳鼻科検診9:30	7金	3~6組実習最終日 ワープロエクセル検定① 個人懇談(普)	7土		7月		7木		7土		7火	個人懇談③14:45下校	7木	7日	7日	7金	7土	7日	7土	7日	7木
8土		8月	振替休業日(体育祭)	8木	歯科検診予備日 9:30	8土		8土		8火		8金	避難訓練②	8日		8水	個人懇談③14:45下校	8金	8月	8月	8金	8土	8日	8土	8日	8金
9日		9火	体育祭予備日12:45下校	9金	漢字検定①	9日		9土		9水		9土		9月	スポーツの日	9木		9土	9火	9日	9金	9土	9日	9土	9日	9土
10月	全校登下校指導① 入舎歓迎会	10水	個人懇談①14:45下校 胸部レントゲン(1年)9:30-	10土		10日	個人懇談(普)14:45下校	10木		10火		10土		10日		10金	個人懇談③	10水	10日	10日	10土	10日	10土	10日	10日	10土
11火	生徒指導集会 全校登下校指導②	11木	歯科検診(3年) 歯科講話9:30	11日		11火	個人懇談(普)14:45下校	11金	山の日 学校閉庁日	11水		11土		11日		11金		11木	11日	11日	11土	11日	11土	11日	11土	11日
12水	清掃オリテ 1年自転車通学者指導 発育測定 視力 聴力 歯科検診(1・2年)9:30	12金	個人懇談①12:45下校	12土	3~6組職場実習期間 (~7/7)	12水	個人懇談(普)14:45下校	12土		12火	舎避難訓練②	12木		12日		12金		12火	12日	12日	12土	12日	12土	12日	12土	12日
13木		13土		13火		13木	個人懇談(普)14:45下校	13日		13水		13金	3~6組職場実習最終日	13土		13日	個人懇談③(1・3年生) 14:45下校	13水	13日	13日	13土	13日	13土	13日	13土	13日
14金	第1回PTA運営委員会	14日		14水		14金	個人懇談(普)12:45下校	14土		14月		14木		14土		14火	個人懇談③14:45下校	14木	14日	14日	14土	14日	14土	14日	14土	14日
15土		15月	江南タイム 尿2次①	15木		15土		15金		15火		15土		15日		15水	個人懇談③12:45下校	15金	15日	15日	15土	15日	15土	15日	15土	15日
16日		16火	個人懇談①14:45下校 尿2次②	16金		16日		16土		16水		16土		16日	YOYO祭オリエンテーション ー続けて2学年宿泊オリテ	16木		16土	16日	16日	16金	16日	16土	16日	16土	16日
17月	江南タイムオリテ	17水	3年生修学旅行 個人懇談①(1・2年生)	17土		17日		17月	海の日	17木		17土		17日		17金	2年生宿泊学習	17日	17日	17日	17土	17日	17土	17日	17土	17日
18火		18木	3年生修学旅行 個人懇談①(1・2年生)	18日		18火	個人懇談(普)14:45下校	18土		18金		18月		18日	敬老の日	18土		18日	18日	18日	18土	18日	18土	18日	18土	18日
19水	体育祭結団式	19金	3年生修学旅行 個人懇談①(1・2年生)	19月		19水	個人懇談(普)14:45下校	19土		19日		19月	職業教育相談 (職業12:45下校) 3~6組職場実習期間(10/13)	19土		19日		19日	19日	19日	19土	19日	19土	19日	19土	19日
20木	内科検診(2・3年)13:00	20土		20火		20水	学期末特別時程 14:45下校	20日		20日		20月	職業教育相談 (職業12:45下校)	20金		20日	漢字検定②	20水	20日	20日	20土	20日	20土	20日	20土	20日
21金	PTA総会(紙面開催) 内科検診(1年)13:00	21日		21土	第1回学校説明会	21金	終業式 10:45下校 学年懇談会 舎懇談	21月		21火		21土	職業教育相談 (職業12:45下校)	21土		21日		21日	21日	21日	21土	21日	21土	21日	21土	21日
22土		22月	学習参観週間(~26日)	22木		22土		22金		22火		22土	職業教育相談 (職業12:45下校)	22日		22水	個人懇談③	22金	22日	22日	22土	22日	22土	22日	22土	22日
23日		23火	避難訓練①	23金		23日		23土		23水		23土		23日	秋分の日	23月		23土	23日	23日	23土	23日	23土	23日	23土	23日
24月	江南タイム 尿検査1次① 舎避難訓練①	24水	個人懇談①14:45下校	24土		24日		24月	夏季休業日(~8/31)	24木		24土		24日		24火		24日	24日	24日	24土	24日	24土	24日	24土	24日
25火	尿検査1次②	25木	個人懇談①14:45下校 歯科個別指導9:30	25日		25火		25金		25水		25土		25日		25火		25日	25日	25日	25土	25日	25土	25日	25土	25日
26水		26金		26月		26火		26土		26日		26土		26日		26火		26日	26日	26日	26土	26日	26土	26日	26土	26日
27木	体育祭リハーサル	27土		27火		27日		27月		27水		27土		27日		27火		27日	27日	27日	27土	27日	27土	27日	27土	27日
28金		28日		28水	自転車安全講習会PM	28土		28金		28火		28土	介護等体験②	28日	(創立30周年記念) YOYO祭	28月		28土	28日	28日	28土	28日	28土	28日	28土	28日
29土	昭和の日	29月	個人懇談	29木		29土		29金		29火		29土	介護等体験②	29日		29水		29土	29日	29日	29土	29日	29土	29日	29土	29日
30日		30火	個人懇談 眼科検診13:15-	30金		30日	同窓の集い	30月		30水		30土		30日		30火		30日	30日	30日	30土	30日	30土	30日	30土	30日
		31水	心臓検診(1年)9:30-	31土		31日		31月		31火		31土		31日		31火		31日	31日	31日	31土	31日	31土	31日	31土	31日

## 類型部の計画

### 1・2組（職業学級）経営計画

#### 1 職業学級について

- (1) 多くの生徒が企業就労という目標を持ち、授業や職場実習に取り組むことができる。
- (2) 学校生活の中で、自分の課題を明確にし、課題解決に向けて少しずつ努力することができる。
- (3) ルールやマナーを守ろうとするが、自分で考えて行動することが苦手である。
- (4) 多くの生徒がスポーツや体を動かすことを好み、体力向上に向けて取り組むことができる。
- (5) 自分に自信がなく、ささいなことで落ち込んだり、不調を訴えたりする生徒もいる。

#### 2 目標（1・2組で願う「ひとりだち」の姿）

- (1) 企業就労を目指す社会人としての知識やスキルを身に付け、より良く生きようとする態度を養う。
- (2) 様々な活動の中で経験を積み、自分で考えて行動し、課題解決に向けて粘り強く取り組む。
- (3) ルールやマナーの大切さを知り、周囲の状況を考えながら行動できる。
- (4) 健康の大切さを知り、生活リズムを整え、心身の健康維持を心掛ける。

#### 3 運営の方針

##### (1) 生徒支援

- ① 生徒の思いや願いを丁寧に聞き取るとともに、本人の日常の様子や周囲の環境などについて職員間で情報を共有するよう努める。
- ② 生徒が自信をもち主体的に行動できるように、本人の目標を明確にし、良さや成長を見取って具体的に伝えるように努める。
- ③ 問題が生じた時は、迅速に確認、連絡、相談、報告を行い、職員相互に連携して支援・指導を行うとともに、予防的な指導に努める。

##### (2) 保護者との連携

- ① 連絡帳、たより、懇談会、進路説明会等で、保護者の子どもに対する現在及び将来の願いをよく聞き取るとともに、学校の計画や考えを丁寧に伝え、信頼関係の構築に努める。
- ② 「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を活用し、保護者と共通理解を図りながら教育活動を行うように努める。

##### (3) 学習指導

- ① 日常の学習を通して基本的な知識を習得し、その知識をより良い生活に生かしていけるよう学習活動を計画する。
- ② 課題別、123学年合同など、学習グループを工夫し、ともに学び合うことができるように努める。
- ③ 「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」を活用し、職員間で一人一人の目標を共有して学習指導を進めるように努める。

##### (4) 進路指導

- ① 様々な学習活動を通して働きたいという気持ちが十分に育つように支援する。
- ② 企業就労に向けて、1年生は「職業を知る」、2年生は希望や働く力を「確かにする」、3年生は「選ばれる」よう計画的に職場実習を実施する。実習後の振り返りも大切にする。
- ③ 生徒と実習先の思いのマッチングを心掛け、進路指導部と連携し、企業の協力を得て職場実習を実施するとともに、保護者への情報提供に努める。

4 行事等

月	行事	実施予定日	目的地・場所	備考
4	●職場実習～3月		各職場実習先	実施日は生徒による
5	●職業学級駅伝大会	26(金)	学校内	
6	●各学年別校外学習		校外	各学年の計画による
7	●職業学級スポーツ大会	13(木)	学校内	
夏	●清掃技能検定(7月)	27(水)	学校内	
10	●職業学級マラソン大会	19(木)	学校内	
12	●職業学級スポーツ大会	13(水)	学校内	
1	●職業学級 新年会	12(金)	学校内	
2	●職業学級 三送会	29(火)	学校内(・校外)	校内レク、三送会セレモニー

5 週時程表

1学年	月	火	水	木	金
	マラソン / SHR				
1	LHR	情報資格 PC/漢字	一般教養	体育	一般教養
2	音・美		地域生活		家庭生活
給	給食				
345	職業演習	職業演習	職業演習	職業演習	職業教養
	SHR				
	清掃 / SHR				
2学年	月	火	水	木	金
	マラソン / SHR				
1	LHR	体育	情報資格	一般教養	一般教養
2	音・美		PC/漢字	家庭生活	地域生活
給	給食				
345	職業演習	職業演習	職業演習	職業演習	職業教養
	SHR				
	清掃 / SHR				
3学年	月	火	水	木	金
	マラソン / SHR				
1	LHR	一般教養	体育	情報資格	一般教養
2	音・美	家庭生活		PC/漢字	地域生活
給	給食				
345	職業演習	職業演習	職業演習	職業演習	職業教養
	SHR				
	清掃 / SHR				

※総合的な探究の時間…前期：9月19日～28日、後期：1月29日～2月9日

## 3組(職業自立A類型)経営計画

### 1 3組について

- (1) 指示に従って課題に取り組むことができる生徒が多い。
- (2) 他学年の生徒と学習を進めることにより、望ましい学習態度を意識する生徒が多い。
- (3) 繰り返し取り組むことで、学習事項の定着に結び付く生徒が多い。
- (4) 相手の立場に立った言動を取ることが苦手で、人との適切な関わり方や集団生活でのマナーなどを課題とする生徒がいる。
- (5) 一人ひとりの困難(不安に思う対象やこだわりなど)の幅がとても広い集団である。
- (6) 健康面や精神面が安定せず、継続して学校生活を送ることが難しい生徒がいる。

### 2 目標(3組で願う「ひとりだち」の姿)

- (1) 卒業後は、企業就労または就労支援事業所を経て企業就労することを目指す。
- (2) 勤労の意義について理解し、勤労に必要な体力や態度、技能等を身に付ける。
- (3) 自分の課題を明確にし、課題解決に向けて努力を続けることができる。
- (4) 必要に応じて支援を受けながら、地域資源を活用し、自立した生活を送ることができる。
- (5) 自分の将来をイメージし、より良い生活を送ろうとすることができる。

### 3 運営の方針

#### (1) 生徒理解・生徒支援

- ① 類型職員で一人一人の生徒について日常の観察を行い、速やかに職員間で情報を共有し、適切な指導・支援を行う。
- ② 生徒の思いや願いを丁寧に聞き取り受け止めるとともに、適切な方向へ導くように個に応じた支援を計画的・継続的に行う。
- ③ 一人一人の生徒の良さや成長を認め、称賛することで、自信につなげるように努める。

#### (2) 学習指導

- ① 繰り返しの指導で基本的事項を定着するようにする。
- ② 体験的な活動を多く取り入れ、技能の習得に努める。
- ③ 目標設定及び振り返りを個別に行うことを重視し、次へのステップアップへとつなげる指導を行う。
- ④ 一人一人の自己理解が深まるような学習活動を計画する。
- ⑤ 生徒の実態や各指導の形態に応じて、縦割り、課題別、学年別、学級別等の学習形態を工夫する。
- ⑥ UDL、ICTを積極的に取り入れた学習指導に努める。

#### (3) 保護者との連携

- ① 毎日の連絡帳やたより、懇談会等を通じて保護者との連絡を密にし、保護者の願いを聞き取ったり学校の考えを伝えたりして信頼関係を築くよう努める。
- ② 個別の教育支援計画や個別の指導計画を基に、保護者と連携して教育活動を行う。

#### (4) 進路指導

- ① 職業生活や実習を通して、働くために必要な力の育成に努める。
- ② 職場・施設見学や体験を計画的に設定し、進路選択の幅を広げる。
- ③ 進路指導部と連携し、生徒・保護者へ進路に関する情報を随時提供するよう努める。

4 行事等 <主な行事予定> ○学校全体の行事 ●A 類型の行事 ☆学年の行事

月	行 事	実施予定日
5	○体育祭	5/3(祝)
	☆修学旅行(3年)	5/17(水)~19(金)
6	●職場見学	6月上旬~中旬
	●春季職場実習・校内実習	6/12(月)~7/7(金)
夏	●清掃技能検定(7月)	7/26(水)
9	●秋季職場実習・校内実習	9/19(月)~10/13(金)
10	○YOYO 祭	10/28(土)
11	☆宿泊学習(2年)	11/16(木)~17(金)
12	●オフィスサポート検定	12/1(金)
	●忘年会	12/18(月)
1	●新年会	1/10(水)
2	●三送会	2/29(木)

5 週時程表

	時 間	月	火	水	木	金
登校	~ 9:10	登校・着替え				
SHR	9:10 ~ 9:30	SHR				
1	9:30 ~ 10:50	LHR	朝運動	朝運動	朝運動	朝運動
2	10:50 ~ 12:00		体 育	職業演習	職業演習	職業演習
給食・休憩	12:00 ~ 13:00	給食・休憩				
3	13:00 ~ 13:40	チャレンジタイム	課題別学習	職業教養	地域生活	一般教養
4	13:50 ~ 14:25	音楽／美術	地域生活	体 育	家庭生活	
5	14:25 ~ 15:00					着替え・SHR
清掃	15:05 ~ 15:20	清掃				
着替え・SHR	15:20 ~ 15:45	着替え・SHR				
下校	15:45	下校				

## 令和5年度 4組(職業自立Bグループ)経営計画

### 1 4組(職業自立Bグループ)について

- (1) 具体的に体験したり、繰り返し経験したりすることで力を伸ばすことができる。
- (2) 具体的な指示に応じて活動できる生徒がほとんどだが、臨機応変な対応は難しい生徒が多い。
- (3) 言葉でのコミュニケーションがある程度可能な生徒が多い。だが、自分の気持ちや考えを伝えることが不得手だったり、他者との適切なかわり方に課題があったりする生徒がいる。
- (4) 個に応じた支援を工夫することで、集団での活動を行うことができる生徒が多い。
- (5) 集団活動、行事等で参加することが難しく、環境、配置等の支援が必要な生徒が多い。

### 2 目標(4組で願う「ひとりだち」の姿)

- 健康：健康な体(体力)。健全な心(安定)。
- 創造：興味・関心の拡大。自主性・自発性の向上。自己決定する力。自己認知(得手、不得手)。
- 努力：挑戦する心。目標達成と自己評価。楽しく活動(達成感・成就感)。
- 連帯：ルールやマナーを守っての集団生活。人を傷つけない言動。  
共感(互いの個性を認め合う)と協調性。自己責任。

### 3 運営の方針 **集団の中の個**

#### (1) 生徒理解 **得手・不得手の把握**

- ① 日常的な観察を通じた細やかな実態把握
- ② 生徒の思いや願いの丁寧な聞き取りと受け止め
- ③ 友達関係の把握

#### (2) 学習指導 **ICTを活用した学習指導 ～学習グループ内の個別対応～** **生きる力を身に付ける**

- ① 基本的な生活習慣、職業生活に必要な基本的習慣の確立
- ② 自己理解のための振り返りの機会の設定
- ③ 自信につながる「できる」という実感を積み重ねる支援
- ④ 目標達成に向けた繰り返しの活動の場の設定
- ⑤ 地域資源を活用するための実践的な活動の機会の設定
- ⑥ ICT(情報通信技術)、UDL(ユニバーサルデザインラーニング)、FG(ファシリテーショングラフィック)等の有効活用・学習指導
- ⑦ 生徒自ら考え、取り組む姿が見られる活動内容の設定や学習グループを工夫

#### (3) 生徒指導・生活支援 **よいところを見つけて伸ばす** **生徒の障害の特性の理解と支援方法の工夫**

- ① 基本的な生活習慣や、集団生活におけるルールやマナーに関する継続した指導
- ② 集団の力を生かした関わる力の向上を目指す場の設定
- ③ 自己解決力の向上を目指した支援の工夫
- ④ 実態に応じた適切な個別の支援と生徒の良さを伸ばす指導

#### (4) 保護者連携 **連絡、返答、報告**

- ① 保護者との連絡、話し合いの機会の密な設定と、保護者の願いや心情の理解
- ② 保護者と連携した継続、一貫性のある支援

#### (5) 進路指導 **進路先を見据えた支援**

- ① 生徒の自己実現の意識と自己決定力の向上を目指した計画的な指導
- ② 進路に関する実際的な体験の機会の設定
- ③ 生徒・保護者への情報提供
- ④ 関係機関との連携

#### (6) 職員連携 **協力～お互い様～**

- ① 生徒の実態把握や支援に関する職員間の共通理解の機会の設定
- ② 日常的な連絡、相談、報告と積極的なコミュニケーション

#### 4 類型行事等 ※生徒に関わるもの

月	行 事
4	新入生歓迎会 生徒指導(SNS指導)集会 職業生活オリテ 教育相談①
5	職場体験(2年) ※体育祭 ※3年生修学旅行
6	春季校内・職場実習 清掃演習～7月
7	教育相談② 暴力防止講座(いじめ) SNS指導 心と体の学習(第二次性徴①) 心と体の学習①
9	集会 職場体験(1年①) 秋季校内・職場実習(～10月) 清掃演習 携帯安全教室
10	教育相談③ ※YOYO祭 心と体の学習(第二次性徴②)
11	生徒会選挙関連 ※2年生宿泊学習
12	心と体の学習②
1	集会 職場体験(1年②) 学習発表会
2	清掃演習 教育相談④ 三年生を送る会 心と体の学習③
3	※卒業証書授与式
※	江南タイム 職場見学 学級校外学習 学級宿泊学習

#### 5 週時程表

	時 間	月	火	水	木	金
登校	～9:10	登校・着替え				
SHR	9:10～9:30	SHR				
1	9:30～10:50	職業生活 (朝の運動) LHR	職業生活 (朝の運動) 9:30～9:50 (演習)	職業生活 (朝の運動) 9:30～9:50 (演習)	職業生活 (朝の運動) 9:30～9:50 (演習)	職業生活 (朝の運動) 9:30～9:50 (演習)
2	11:00～12:00	地域生活① (コミュニケーション・ルール・マナー)	10:05～11:50	10:05～11:50	10:05～11:50	10:05～11:50
給食・休憩	12:00～13:00	給食・休憩				
3	13:00～13:40	地域生活③ 1年進路 2年ことば・漢字 3年かず・お金	地域生活③ 1年かず・お金 2年進路 3年ことば・漢字	地域生活③ 1年ことば・漢字 2年かず・お金 3年進路	地域生活② (地域探訪)	音楽／美術 ※週ローテ
4 5	13:50～14:25 14:25～15:00	体 育	体 育	家庭生活		
清掃	15:05～15:20	清掃				
着替え SHR	15:20～15:45	着替え・SHR				
下校	15:45	下校15:45				
						下 校 14:45

※月・火・水曜3限の地域生活③は、内容が重ならないように学年ごとに曜日を変えて実施する。

## 5・6組（生活技能類型）経営計画

### 1 5・6組生徒の実態について

- 日常生活や身辺処理に関する指示理解ができ、挨拶や返事等の意思表示をすることができる。
- 言葉を使って相手に気持ちを伝えたり、困ったときに依頼したりすることが難しいが、視覚的な支援や個別指導により内容を理解して意思表示することができる。
- 経験を積むことで落ち着いて活動に取り組むことができる。
- 環境や日程の変化、集団活動に適応することが難しい生徒が多い。

### 2 目標（5・6組で願う「ひとりだち」姿）

- 生活リズムを整え、健康な体を作る。
- 自分なりの表現方法で思いや気持ちを相手に伝えたり、自己選択をしたりすることができる。
- 社会の一員としてルールやマナーを守り、多様な集団の中で人との関わりを楽しむことができる。
- 様々な体験を通して自分の世界を広げ、感じる力、表現する力、考える力を伸ばすことができる。

### 3 運営の方針

#### （1）生徒理解・生徒支援

- ①生活リズムの確立と健康の保持を図る。
- ②生徒の気持ちや思いに寄り添った支援を行う。
- ③生徒の良さを認め、できたことや頑張ったことを称賛する。
- ④生徒の障害や発達、生活実態を十分把握し、実態に応じた支援を行う。
- ⑤生徒一人一人のきめ細かい日常観察を行い、職員間で情報共有する。

#### （2）学習指導

- ①一人一人の課題を明確にし、個に応じた目標設定や学習内容の選定を行う。
- ②学習や行事、校外学習等を通して幅広い生活経験をえられるように配慮する。
- ③学習グループを編成し、生徒の実態に合った学習内容を設定する。
- ④学習を繰り返し行い、学習内容の定着を図る。
- ⑤集団活動を通して仲間意識を育てながらルールやマナーを指導する。

#### （3）保護者との連携

- ①朝の送迎や連絡帳、個別懇談等を通じて生徒の情報共有を行う。
- ②生徒の課題を家庭と共有し連携しながら支援を行う。
- ③保護者の願いや思いを受けとめながら支援や進路について話し合う。

#### （4）進路指導

- ①職業生活や職場実習を通して働く意識を育てる。
- ②休憩時間の過ごし方、人との接し方を指導する。
- ③保護者に対して進路の情報提供を行う。
- ④関係機関と連携を図る。

4 行事等  
事

○学校全体の行事 ●生活技能類型の行事 ☆学年の行事

行 事	実施予定日	目的地・場所	備考
●新入生歓迎会	4月13日(木)	新館多目 YOYOホール	3年生担当
○体育祭	5月3日(木)	グラウンド	午前
☆3年修学旅行	5月17日(水)～19日(金)	県内中越方面	3学年部
●春季職場実習	6月12日(月)～7月7日(金)	1年：校内実習 2, 3年：職場実習・校内実習	5, 6組職業生活 グループ担当
●職業生活慰労会	7月20日(木)	各グループ活動場所	グループ担当
●秋季職場実習	9月19日(火)～ 10月13日(金)	1年：校内実習 2, 3年：職場実習・校内実習	5, 6組職業生活 グループ担当
○YOYO祭	10月28日(土)	校内	バザーなし
☆2年校外宿泊学習	11月16日(木)～17日(金)	新潟市内(未定)	2学年部
☆クリスマス会週間	12月18日(月)～	各学年裁量	5, 6組地域生活
●三送会	2月29日(木)	新館多目 YOYOホール	5, 6組2年生担当
地域の施設利用	通年	ふれ愛プラザ、スーパー、駅等	5, 6組各学年
校外学習(ランチ含)	学期に1回程度	ボウリング・買い物等	5, 6組各学年

5 週時程表 ※  は、職業生活

	時 間	月	火	水	木	金
登校	8:50～9:10	登校・着替え				
SHR	9:10～9:30	日常生活の指導				
1	9:30～9:55	SHR ※9:55移動				
	10:00～10:50	LHR	職業生活	職業生活	職業生活	職業生活
2	10:50～11:45 ※11:40移動		職業生活	職業生活	職業生活	職業生活
給食・休憩	11:45～13:00	給食・休憩 ※12:50移動				
3	13:00～13:40	体 育(ウォーキング)				体 育 (サーキット運動他)
4	13:50～14:25	地域生活	家庭生活	選択 音楽/美術	地域生活	
5	14:25～15:00					着替え・SHR
清掃	15:05～15:20	清掃				14:10～14:45
着替え・SHR	15:20～15:40	着替え・SHR				下校
下校	15:45	下校				14:45

## 8 指導計画の大綱

### 指導部の計画

指導部名	総合部	
前年度の評価  ◎ 成果 ▼ 課題	<p>&lt;キャリア教育&gt;</p> <p>◎授業実践を通して検証と改善…各類型でキャリア教育プログラムを基にした授業実践をおこなった。生徒の実態に応じて学習活動を進め、「ひとりだち」に向けての力を育むことができた。</p> <p>◎個別の教育支援計画作成の際、キャリア教育プログラムを参照して目指す姿を設定するように働き掛けた。</p> <p>&lt;総合的な探究の時間の評価&gt;</p> <p>◎各類型とも、生徒の実態に応じて職場実習や授業、家庭での生活等の振り返りや今後の目標を考え、発表会を行うなど学習活動を進めることができた。類型によっては、感染症対策としてリモートで発表会を実施したり、生徒個人のiPadに発表の様子を録画し保護者に見せたりした。</p> <p>▼他類型の取組の様子を知り、自類型の取組に生かせるように総合部の職員を中心に授業を参観し合う。</p>	
指導のねらい	◎将来の生活（働き方や暮らし方、余暇等）を考え、卒業後の進路を主体的に選択、決定できる意欲と態度、能力を育む。	
主な業務内容 【担当者】	<p>◎「総合的な探究の時間」について、生徒の実態に応じた授業計画の立案を行う。</p> <p>◎ 保護者や他類型職員などに取組の様子が分かるように、情報発信を積極的に行っていく。【部員がリーダーとして活動する】</p>	
重点目標	評価項目	評価
授業実践を通して検証と改善	◎授業実践を通して、当校の目指す総合的な探究の時間について評価・検討し、適宜全体計画等を加筆、修正する。	
総合的な探究の時間の活動計画の作成と情報発信	<p>◎生徒の実態に応じた学習活動の計画的な実施を各類型主任と連携して進める。</p> <p>◎各類型の取組の様子を保護者や職員への情報発信を行う。</p>	

指導部名	職業生活部	
前年度の評価  ◎ 成果 ▼ 課題	◎ YOYO 祭にあわせて職業生活についてのポスターを作成し、来校された保護者の方に見ていただいた。そのまま貼っておき、学校説明会に来られた方にも見ていただけた。 ◎ 検定の実施計画や受検する生徒名簿を類型主任、学級担任に配ったことで、誰がどの級を受検するか多くの目で確認することができた。 ◎ 各検定の際、職業学級の先生方からお手伝いいただきとても助かった。 ▼ 1学期のワープロ検定、漢字検定ともに受検数が少なかった。(ワープロ7人、漢字13人) 1学期の検定をなくしていいのかもしれない。	
指導のねらい	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">企業就労を目指す生徒</div> ○職業人として自立的に生活を営むために、働く意義や価値について考える力を育てる。 ○職業生活に必要な一般教養やビジネスマナー・スキル等を身に付けたり、必要な各種検定・資格の取得を促したりする。 ○演習、体験、実習等を経験し、自分の適性の理解や仕事のやりがいなどに基づいた意思決定をする力を育てる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">福祉就労を目指す生徒</div> ○演習や実習を通して、働くために必要な基礎的スキルや態度を身に付けるとともに、働くことの意義や喜びを味わう。 ○様々な作業に取り組むことを通して、好きなことや得意なことなど自己理解を深め、適切な進路選択に生かす。 ○自分の分担に責任をもち、他の人と協力して作業や実習に取り組む。	
主な業務内容 <b>【担当者】</b>	○類型間の情報共有、指導内容の整合性等の点検 ・各類型の職業生活ポスターの改訂、掲示（学校説明会・YOYO祭に合わせて） ○各種検定運営 ・漢字能力検定 ・日本語ワープロ検定・情報処理検定表計算	
重点目標	評価項目	評価
類型間の情報共有	○各類型での職業生活・職業演習の実践をポスター形式で作成し、学校説明会参加者への情報発信や職員間の情報共有を行う。生徒にも他の類型での活動を知ってもらう機会とする。	
各種検定の運営	○各類型で各種検定の受検について周知する。 ○各種検定を円滑に運営する。 ○職業学級と、各検定の分担等について協議する。	

指導部名	家庭生活部	
前年度の評価 ◎ 成果 ▼ 課題	◎ KP-2 の活用や学期末ごとの情報交換により、他類型の実践内容を知ることができ、自類型の内容を振り返ることができた。 ◎ 管理箇所や物品を適切に管理することができた。 ◎ 調理室の包丁庫や縫製室のアイロン庫等の施錠管理について全体に周知した。 ▼ 授業後、調理室の冷蔵庫の扉が閉まりきってなくてブザーが鳴っていることがあった。←掲示板で使用後の確認を全体に周知した。 ▼ 授業後の調理室や縫製室の片付けと消毒、施錠確認を確実に行う。	
指導のねらい	明るく、健康的で豊かな家庭生活を営む上で必要な能力を高め、個に応じた実践的な態度を育てる。	
主な業務内容 【担当者】	○年間指導計画の実践と評価・改善 ○類型間の情報交換 ○調理室や2階多目的室（調理用具等）、縫製室の教材・備品の管理 ○調理室や2階多目的室（調理用具等）、縫製室の教材・備品の購入 ○調理室の冷蔵庫等の衛生管理 ○2階多目的室の冷蔵庫等の衛生管理 ○調理室・調理用具の点検（長期休業中に清掃点検）	
重点目標	評価項目	評価
年間指導計画の実践と評価・改善	○授業実践の記録を取り、それを基に年間指導計画を評価し、改善を行う。	
類型間の情報交換	○定期的（年2回）に情報交換をする。	
冷蔵庫等の衛生管理	○授業担当者へ学期末ごとに冷蔵庫内の整理を働き掛ける。	
調理室と2階多目的室の調理用具等の管理	○調理室と2階多目的室の調理用具を管理する。 ○長期休業中に清掃と用具の点検、消耗品の補充を行う。	
縫製室の教材および備品の管理	○学期末、縫製室の教材や備品を整理整頓する。	

指導部名	地域生活部	
前年度の評価  ◎ 成果 ▼ 課題	◎類型ごとに実態に応じて、柔軟に対応した学習活動ができた。 ◎感染症対策を行いながら、修学旅行や宿泊学習、校外学習を行うことができた。 ◎各類型がしようした施設リストをサーバーに作成した。 ◎近隣施設や各種体験授業の案内等の回覧し、情報提供ができた。 ◎郵政の体験授業で使用する教材を準備することができた。 ▼区バスの利用が徐々に再開されてきている。今後、バス利用の調整が必要である。 ▼様々な情報収集と、各類型での情報共有。	
指導のねらい	○社会活動や将来の生活についてイメージをもったり考えたりできるように工夫して学習する（自分、友達、家族、地域）。 ○情報を集める、体験を積み重ねることを通して、将来の生活に必要な態度や技能を育てる（公共交通機関、公共施設、権利、義務、法律、マナー）。	
主な業務内容 <b>【担当者】</b>	○各類型部の年間指導計画の実践と評価・改善 ・部会で定期的に確認する。 <div style="text-align: right;">【担当者】【○      、      】</div> ○類型間の情報共有、指導内容の整合性等の点検 ・実践例や教材の紹介、活用 ・校外学習先等を入力できるリストを作成し、類型を越えた全職員が把握、活用できるようにする。 <div style="text-align: right;">【担当者】【○      、      】</div> ○「体験授業」教材（郵政など）の手配・紹介 ・各類型より希望をとり教材を取り寄せる。 <div style="text-align: right;">【担当者】【○      、      】</div> ○江南区バス、横越バスの調整カレンダー掲示 ・区バス利用が、他学級と重複せず、乗車できるようにする。 <div style="text-align: right;">【担当者】【○      、      】</div> ○物品の購入や保管・管理 ・指導部として買いたいものの確認、要望提出、購入 <div style="text-align: right;">【担当者】【○      、      】</div>	
重点目標	評価項目	評価
年間指導計画の実践・改善	○前期、後期末に年間指導計画の見直しを行い、次年度の計画に反映する。	
類型間の情報共有	○前期、後期末に実践例や教材等を発表し合い、各類型の取組を理解し合う。 ○各類型が利用した施設等を共有できるように、リストを作成する。 ○区バスの調整カレンダーを作成する。 ○郵政の体験授業を行い、アンケートをまとめ発送する。	
物品の購入、管理	○物品の把握と管理をする。	

指導部名	音 楽 部		
前年度の評価  ◎ 成果 ▼ 課題	◎校歌の手話動画に歌詞を付け終業式でも使用したことで、生徒がよく見て真似をしていた。 ◎YouTube の動画に楽器のイラストを貼り付けるなどの編集をしたことで、楽器を鳴らすタイミングをわかりやすく示すことができた。 ◎器楽練習（トーンチャイムのコード演奏）の際、元音源の key を転調させるアプリを使い演奏が平易になるようにした。 ◎生徒の好きな iPad のキーボードアプリを使って曲を弾く授業をした。皆意欲的に取り組んでいた。 ◎ YouTube から生徒のリクエスト曲やカラオケの曲を選ぶことによって意欲をもって聴いたり歌ったりしていた。 ▼卒業式の校歌は手話で歌うことも考え、動画を共有して音楽の時間以外でも練習する。 ▼カラオケマイクの消毒、楽器の持ち手の消毒を徹底する。 ▼視覚優先の生徒も多いため、電子黒板を導入してもらい有効に活用したい。 ▼「輝くみらいを」と「校歌」の手話が左右反対のため、統一した方が良い。→現在使用しているものは変更せず、今後手話動画を作る際に留意する。		
指導のねらい	○表現及び鑑賞の力を培うとともに、音楽を生活の中に生かし、生涯を通じて心豊かな生活を送ろうとする気持ちを育てる。		
主な業務内容 <b>【担当者】</b>	○全体計画 【 】 ○会計 【 】 ○年間指導計画 【 職業： A： B： 生活： 】 ○授業案作成 【 職業： A： B： 生活： 】 ○全校歌唱指導 【 指揮： 伴奏： 】 ○行事BGM選曲 【 】 ○音楽室内環境整備【 】 ○ハード関係 ・備品管理 【 】 ・ピアノ調律計画【 】 ○ソフト、楽器購入関係（在庫管理と購入計画）【 】 ○県芸術文化祭、その他の音楽イベント参加 【 】		
重点目標	評価項目	評 価	
個に応じた支援の工夫	○生徒の実態に応じた授業形態や環境構成を工夫する。 ○将来の余暇活動を広げられるように、様々なジャンルの教材、教具を準備する。		
掲示物や視聴覚機器の整備	○生徒の情操を養うために、掲示物や視聴覚機器の整備と充実に努める。		
式歌・行事歌の指導の充実	○行事に向け、見通しをもって段階的に指導する。		
意欲を高める指導方法の工夫	○教師間で効果的な指導法を共有し、授業に取り入れる。		

指導部名	美術部	
前年度の評価  ◎ 成果 ▼ 課題	◎様々な理由から、なかなか授業に参加できない生徒がいたが、個別の授業や職員配置の工夫で参加することができた。 ◎材料や用具・技法、表現方法を複数提示して、生徒が選択できるよう工夫した。 ◎授業内でお互いの作品の感想を発表し合う場面を設けたり、各類型の作品を玄関ホールに掲示したりするなど、作品鑑賞の場面を設定した。 ▼5、6組の生徒の授業やクールダウンのために、新館多目的室に途中作品や材料は出したままにしない方がよい。 ▼教材室の整理、用具の補充をすることができたが、部屋が狭いので整理が必要。 ▼電気室に、版画用プレス機（平成6年度購入備品）が保管してある。重量があるので移動しにくい、活用するように引き継ぐ必要あり。 ▼江南区役所から依頼のあった「ともにアート展」は担当者との打ち合わせ期間、担当職員の負担、出品時期など、校内の状況を踏まえて柔軟に対応・検討する必要がある。	
指導のねらい	○いろいろな創作活動を通して、材料や用具の特性、技法を経験し、創造する喜びと意欲を高める。 ○充実した創作活動や作品の鑑賞などを通して、ものの美しさを感じとる「豊かな感性」を養う。	
主な業務内容 <b>【担当者】</b>	○総務・予算・物品購入 ○入学式・卒業式のしおり作成 ○入学式、卒業式の表示・掲示・看板設置 ○ポスター掲示、処分、割引券配付取りまとめ等 ○YOYO祭ポスター・装飾取りまとめ ポスター 玄関装飾 廊下吊り飾り ○玄関ギャラリー・YOYOホールの展示（作品鑑賞、活動の紹介・行事など） ○各種作品展など要請や希望があった場合 ○教材・備品の整備・管理 夏期休業中と年度末に大清掃実施 ○年間指導計画の作成・修正 ・指導の記録（指導計画・評価・教材等）	
重点目標	評価項目	評価
生徒の興味関心をとらえた題材設定	○生徒の興味・関心や知識・技能に合わせて題材設定を工夫し、年間指導計画の修正をしながら指導をする。	
個に応じた指導の充実	○個々の生徒の実態や課題に応じて表現方法（表現形態、材料、用具、技法など）を工夫する。	
環境整備	○円滑に教育活動ができるように、年に2回、教材の整備や環境の整頓をする。	
作品鑑賞の場面設定	○授業の中で鑑賞の活動を設定したり、学期に1回以上、玄関ギャラリーなどを活用したりして、自分や友達の作品を鑑賞する機会を設定する。	
保護者への広報活動	○便りやホームページなどで、年に1回以上、学習の様子を伝える。	

指導部名	保健体育部	
前年度の評価	<p>◎各類型で、生徒の実態に応じて、教材、教具やルールなどを工夫し、充実した指導ができた。</p> <p>◎感染予防対策を徹底し、体育祭を開催することができた。</p> <p>◎ 成果 ▼引き続き類型間の交流学习を計画していく。</p> <p>▼ 課題 ▼体育祭種目の検討</p>	
指導のねらい	適切な運動経験を通して、心身の健康と体力の向上を図るとともに、明るく楽しく生活を営む態度と習慣を育てる。	
主な業務内容 【担当者】	<u>◇校内◇</u> ○教育計画、年間指導計画 ○体育祭 ○体育委員 ○会計 ○障スポ大会	<u>◇特体連◇</u> ○専門委員・校内担当 ○事務局 ・会計
重点目標	評価項目	評価
体育授業の充実	○各類型で、それぞれに生徒の実態に合ったルールやグループ、教材等の検討を進める。 ○題材ごとに、技能の習得度や個々の運動量を把握し、次の題材指導計画に活用する。	
体育的行事への積極的参加	○体育祭などの体育的行事で、生徒が意欲的に取り組み、満足感を得ることができる。 ○特体連スポーツ大会や各種スポーツ大会に、各自が目標をもって意欲的に取り組むことができる。	

指導部名	特別活動部	
前年度の評価  ◎ 成果 ▼ 課題	<行事への積極的な参加> ◎Y〇Y〇祭では、生徒会、学級委員を中心に全校生徒の活躍の場を設けることができた。引き続き必要に応じて感染症対策を行いながら、臨機応変に生徒の実態に合った活動を計画する。 <生徒の意見を反映した学校行事の取り組み> ◎Y〇Y〇祭のスローガンは、全校生徒の意見をもとに生徒会総務で話し合い決定することができた。今年度も継続していきたい。 <生徒会、実行委員会の活動の工夫> ▼コロナ禍の影響もあり、各委員会で十分な活動が保障されないことがあった。 <生徒の実態に合わせた生徒会役員選挙の持ち方の工夫> ◎生徒会総務だけでなく、選挙管理委員の活躍の場を設けることができた。今年度も継続していきたい。	
指導のねらい	○ 多くの行事を通して、みんなで力を合わせて行事を作り上げる喜びを実感できるようにする。また、活動を通して生徒の自主性・自発性を促進する。	
主な業務内容 <b>【担当者】</b>	○ 年間指導計画の作成・修正 ○ 生徒会総務の指導（生徒会ラジオ） ○ 各委員会の指導 ○ 体育祭の運営への協力 ○ Y〇Y〇祭への運営協力 ○ 生徒会選挙・生徒総会に関する指導 ○ 壮行会・あいさつ運動への協力 ○ リクエスト放送計画・指導（2回） ○ いじめ見逃し0運動への協力	
重点目標	評価項目	評価
行事への積極的な参加	○オリエンテーションで呼び掛けを行い、生徒一人ひとりが活動に参加できる機会を意図的に設ける。	
生徒の意見を反映した学校行事の取り組み	○生徒会総務の話し合いやアンケートで意見を出し合い、行事等の活動に反映していく。	
生徒会活動（委員会）・実行委員の活動の工夫	○短時間で委員会活動や行事の準備ができるように活動内容の精選を行い、生徒が取り組みやすい手立てを検討する。	
生徒の実態に合わせた生徒会選挙の持ち方の工夫	○生徒の実態に応じた生徒会選挙や立会演説会の持ち方を検討する。	

指導部名	日生・自立活動部	
前年度の評価  ◎ 成果 ▼ 課題	<p>◎年度初めに配布した自立活動の目標と支援の方法の参考例をもとに、生徒個々の実態に応じた目標設定、評価を行うことができた。今後も指導計画の目標と支援の方法（過年度分）を職員配布し、目標設定の参考としてもらう（研修）。</p> <p>▼年間指導計画の加筆修正は予定通りにはできなかった。新しく担当する職員ばかりなので、年間指導計画が現状に照らし合わせて適切か判断するには時間が掛かった。必要に応じて見直しができるように、年度当初にスケジュールを立て、各職員に周知した上で進めていく（年計見直し）。</p> <p>▼購入希望物品は特になかった。前年度の活動や在籍生徒の実態を元に、必要に応じて物品購入するように周知する。</p> <p>▼来年度も職場に外部講師を招いての研修は難しい状況かもしれない。必要に応じて、オンラインなどICTを活用した研修に取り組んで行くといよい。</p>	
指導のねらい	<p><b>【日常生活の指導】</b> ○生徒の日常生活が充実し、高まるように日常生活の諸活動を適切に支援し、より自立的・発展的な生活を過ごすための知識・技能、習慣、生活意欲や生活態度を育てる。</p> <p><b>【自立活動】</b> ○個々の生徒が、障害に基づく困難を主体的に改善・克服し、自立を目指し社会参加するための資質を養う。</p>	
主な業務内容 【担当者】	<p>○年間指導計画の加筆・修正</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活の指導</li> <li>・自立活動</li> </ul> <p>○ 校内研修の運営</p> <p>○ 教材備品の整備・管理</p>	
重点目標	評価項目	評価
類型ごとによる年間指導計画の見直しと加筆・修正	○類型ごとに応じた年間指導計画の見直しと加筆・修正。	
研修の実施と充実	○個別の指導計画の自立活動の目標と支援の方法の（過年度）分を職員配付する。	
教材の購入、管理と紹介	○支援に有効と思われる教材の購入。	

指導部名	交流共同学習部	
前年度の評価  ◎ 成果 ▼ 課題	◎江南タイムでは、コロナ禍のため活動に制限があったものの各学年で工夫して楽しむことができた。実施日を全校同日、同時間に実施したが、年度始めに活動場所を計画しておくことで、小グループに分かれて活動することもできた。 ◎修学旅行や宿泊学習などの行事では、江南タイムを学年集会として有効活用することができた。 ◎向陽高校の生徒との交流学習を2回行った。楽しそうに活動する様子が見られ、互いの生徒にとってよい学びの機会となった。 ▼江南タイムの活動場所の周知徹底と調整を図る。 ▼向陽高校との交流会は、今後も管理職と相談して進める。	
指導のねらい	○江南タイムとして学級・類型の枠を超えた活動を設定、実施することで、生徒相互の交流と理解を深めることができる。 ○共通の興味関心で構成された集団として活動を共有することで、生徒が主体的に参加しやすい状況を創り出し、所属・連帯感を高め、相互理解につなげることができる。 ○近隣の学校と交流をすることで、適切な人間関係や社会性を養うことができる。	
主な業務内容 <b>【担当者】</b>	○全体計画作成 ○年間指導計画作成、運営、学年部職員内の調整 1年、2年、3年 ○会計 ○体育祭の運営への協力（全校応援練習） 1年、2年、3年 ○YOYO祭の運営への協力（記録写真） ○近隣の学校との交流計画作成	
重点目標	評価項目	評価
学年の実態に応じた活動設定	○類型を超えた交流を行うために活動内容を工夫する。	
いろいろな活動を通しての学年及び全校生徒の交流	○江南タイムの活動を通じて、生徒間の理解を図る。	
近隣の学校との交流活動	○相手校及び当校の生徒の実態に応じて、生徒間の理解につながる活動を行う。	

指導部名	道徳・人権同和教育部	
前年度の評価 ◎成果 ▼課題	<p>◎夏季職員研修では、「多様な性の理解」の一環としてLGBTsをテーマとした研修を実施した。研修を通して、性別違和を感じる人や非異性愛の性的指向をもつ人が抱える生活上の困難や課題を知ったり、どのように当事者や非当事者と向き合うか、考えられる対応や取組とはどのようなものがあるかなどを考えたり、意見交換をしたりする機会となった。職員のニーズに基づいたテーマでの研修を実施することができた。</p> <p>◎夏季研修終了後、Google Formsを使ってアンケートを取った。職員が日頃感じている人権的な問題、意識などについて集約し、人権週間に合わせて提示した。類型ごとに話し合いを行い、日頃の取り組みについて振り返りきっかけとなった。</p> <p>◎人権週間に合わせて、生徒会総務による「ポスター作りと掲示」「お昼の放送」と各類型、学級による生徒の実態に合わせた人権に関する取組を実施した。また、授業で活用できるような映像資料を県庁ライブラリーより借用し紹介した。</p> <p>◎「いじめ見逃しゼロ」標語・ポスターコンクールを実施した。応募生徒は作品作りを通して、「いじめを許さない」気持ちの醸成や「いじめのない学校を作りのためにそれぞれができること」を考える機会となった。</p> <p>▼業務内容に「道徳・人権・同和教育関連資料の提供」があったが、生徒の実態も様々で具体的なものをなかなか提示することができなかった。</p> <p>▼部員の連絡の取り方を工夫していく必要がある。分掌の「classroom」を作成し必要な情報を共有できるようにするのも一つの方法。</p>	
指導のねらい	<p>○障害に基づくさまざまな困難を改善・克服し、強く生きていこうとする意欲を高め、明るい生活態度を養うとともに、健全な人生観の育成を図る。</p> <p>○全教育活動をとおして、経験の拡充を図ることによって、豊かな道徳的心情を育て、広い視野に立って道徳的判断力や道徳的实践力が身に付くようにする。</p>	
主な業務内容 【担当者】	<p>○全体計画の作成・修正</p> <p>○各教科等における道徳教育に関わる指導の重点目標を目指した取組の推進</p> <p>○道徳・人権・同和教育関連資料の提供</p> <p>○道徳教育及び人権教育、同和教育に関する研修の企画立案と運営</p> <p>○『「いじめ見逃しゼロ」標語・ポスターコンクール』</p> <p>○人権週間に合わせた人権教育の取組</p>	
重点目標	評価項目	評価
社会の変化に対応した新たな人権教育や道徳教育の推進	○職員研修等をとおして、新たな人権課題の理解やどのように対応が求められるのかを考えたり、意見交換をしたりする機会を設ける。	
「いじめを見逃さない」学校づくりへの取り組み	○「いじめ見逃しゼロ」標語・ポスターコンクールへの作品応募の推進と校内掲示等での啓発を図る。	
各指導の形態における道徳教育に関わる指導の推進	○各類型の生徒の実態に応じた教材や指導を工夫し、道徳教育と各教科領域等に関連付けた授業に計画的に継続して取り組む。	

# 生徒指導の大綱

1 目 標 『自己教育力を身に付け、考えて生活できる生徒』

## 2 基本方針

**一人一人の気持ちに寄り添い、自己有能感・有用感を高め、自立心をはぐくむ生徒指導**  
・周囲との望ましい人間関係の中で、「目標をもち、自分で判断・決定をし、自主的に行動する生徒」「相手を思いやり、互いに認め高め合う生徒」の育成を目指し、指導を行う。

- 生徒理解を深め、一人一人の生徒との信頼関係を築く。
- 全教育活動を通し、生徒の成長を促す指導・支援を行う。
- 予防的な指導・支援を強化するとともに、問題が生じた際は迅速に対応する。
- 家庭、外部機関と連携し、役割を明確にして指導・支援を行う。

## 3 実践する体制

### (1) 校内職員体制

- ◎教育活動全ての場を通して、全職員で組織的に行う。（抱え込みの防止）
- ◎「傾聴・感謝・尊重・連携・健康」の基本姿勢で指導・支援を行う。
- ①一人一人の生徒に寄り添い、魅力ある学級作りと授業の充実を図る職員集団
  - ・生徒とのかかわりを大切にし、望ましい人間関係の構築を目指す。
  - ・生徒の自己決定を促し、自己有用感をはぐくむ授業作りに努める。
- ②生活支援部を中心とした職員間の連携
  - ・職員会議や職員朝会等で情報共有を図り、共通理解のもと一貫した指導を行う。
  - ・役割を明確にして指導・支援を進めるとともに、問題発生時は迅速に対応する。
  - ・支援者会議や紙面での意見交換等、職員同士が相談や協議がしやすい体制作りを工夫する。

### (2) 保護者・地域連携

- ①保護者との連携
  - ・連絡帳、各種たよりを用いて、学校での様子や指導の内容を伝え、共通の姿勢で指導にあたる。
  - ・気になる生徒や不適応生徒に対しては、こまめに電話連絡や家庭訪問、懇談等を行い、問題の未然防止と課題の解決に努める。
- ②地域の外部機関との連携
  - ・江南警察署、近隣の高等学校等の地域の外部機関との密接な情報交換を通して、トラブルに対処できるようにする。また、必要に応じて児童相談所、医療機関、福祉関係機関、地域の関係者、相談窓口等と連携し指導にあたる。
  - ・外部機関とは、校長、教頭の指導のもと、組織的、継続的に連携を図る。

## 4 重点的に取り組む内容

### (1) 生徒理解の推進

#### ア) 教育相談（アンケートの実施→Wチェック→提出→5年保管）

生徒の思いに寄り添い、一人一人の特性やよさを理解することで、よりよい信頼関係の構築を目指す。生徒の変化を見取り、問題の未然防止と早期発見に努める。類型によっては、担任以外の職員が対応するなど柔軟な体制を工夫する。

《教育相談期間例》 I・・・4月 II・・・10月から11月 III・・・2月

#### イ) 職員間の情報共有と連携

生徒に関わる情報を共有し、共通理解のもとで指導・支援を行うことができるように、生徒理解の機会を以下のように設定する。行動面、登下校、出席状況、いじめの認知等、

学校生活におけるかかわりで、配慮・共通理解が必要な生徒について周知を図る。

<b>生徒理解会議（4月・8月）</b> ○配慮・共通理解が必要な生徒について周知する （8月は寄宿舎からの資料も）	<b>職員朝会・類型朝会（随時）</b> ○問題が発生し、全職員への周知が必要な場合 ○早急に共通理解が必要な場合	<b>運営委員会・いじめ対策委員会(月1回)</b> ○問題の詳細、支援方法等の共通理解が必要な報告→全職員に周知する ○いじめ対策の継続報告→全職員に周知する
--	---	--

## （2）予防的な指導

◎「自分で考え、判断する」「自分を振り返る」「責任を負う」ことができるよう指導を行う。

◎学校いじめ防止基本方針に基づき、いじめ未然防止の取組を進める。

### ア）全体指導（4月：全校、長期休業前：類型）

- ・学期初めに集会を行い、集団生活やSNS利用のルールやマナーについて指導する。
- ・長期休業前に、安全に過ごすためのルールやマナーについて指導する。
- ・各類型で心配されることや複数の生徒に関わる問題が生じた場合は、必要に応じて全体指導を行う。

### イ）学級、個別指導

- ・各学級、授業等において、成長を促す指導を日常的に行う。
- ・必要に応じて個別指導を行う。

### ウ）たよりや連絡帳を活用した保護者との連携

- ・協力を得たり、共通の姿勢で支援したりすることができるよう、各種たよりや連絡帳を活用し、学校での様子や指導の内容等を発信する。

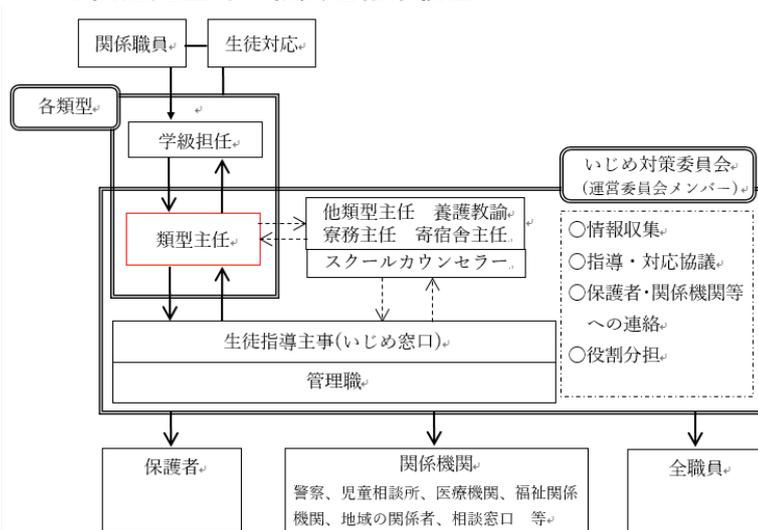
## （3）問題発生時の迅速な対応

- ・問題が発生した際には、まず類型主任（→生徒指導主事、管理職）へ報告し、事実確認や情報収集等を適切に行う。事実確認や情報収集の際は、「生徒指導メモ①」を、今後の対応については「生徒指導メモ②」を活用する。
- ・重大事態が発生した場合は、学校いじめ防止基本方針に基づき速やかに対処する。

## 5 年間計画（案）

月	指導内容・業務内容
4月	1～4組 生徒指導集会
	アンケート・教育相談Ⅰ
	1～4組 SNS 指導
	生徒理解会議Ⅰ
7月	1～4組 SOS の出し方指導
	1～3組 デートDV 防止セミナー
	4組 人権講座
長期休業前指導	
夏季休業 生徒理解会議Ⅱ	
9月	1～4組いじめに関する学習
10月	1～4組 ネット・スマホの指導
11月	アンケート・教育相談Ⅱ
12月	長期休業前指導
冬季休業	
1月	1～4組いじめに関する学習
2月	アンケート・教育相談Ⅲ
3月	長期休業前指導
学年末休業	

### ※問題発生時の職員連絡系統図



#### 《基本系統》

- ① 居合わせた職員が対応
- ② 学級担任、類型主任へ報告
- ③ 管理職・生徒指導主事へ報告  
 <情報収集、指導・対応、役割分担等を協議>
- ④ 保護者へ連絡
- ⑤ 全職員及び必要に応じて関係機関へ連絡

# 進路指導の大綱

## 1 目的

○すべての生徒が、生涯にわたって、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していけるように、個々の実態やニーズに応じた指導・支援を行う。

## 2 目標

- 生徒や保護者が、将来の働き方や暮らし方、楽しみ方を主体的に考え、選択・決定できるように、適切な学習の機会を設けたり、情報を提供したりすること。
- 在学期間から卒業後数年間にかけて、保護者や支援者と連携し、地域や職場、施設等へ円滑な移行ができるようにすること。

## 3 目標を実現するための基本方針

### (ア) アセスメント（実態把握と適切な目標設定）

個別の指導計画・教育支援計画や職場実習の評価を活用したアセスメントを実施するとともに、福祉サービスの利用状況や家庭の支援環境等の把握に努め、一人一人の進路決定に関わるニーズに基づき、適切な目標設定や支援の実践を行う。

### (イ) 適切な学習の機会の提供

職業生活の授業を中心に、学校生活全体を通して、一人一人のニーズに応じた進路に関わる学習を構成する。また、生徒の勤労観、職業観を育てたり、自己理解を深めたりすることができるように、職場実習を計画的に実施する。

### (ウ) 移行支援

卒業生が地域や職場、福祉サービス事業所等に定着・適応できるように、らいふあつぷ等の障害者就業・生活支援センターや新潟市障がい者就業支援センターこあサポート（以下両方とも「就労支援機関」と表記）、相談支援事業所、自立支援協議会の関係部会等関係機関との協力体制を早期から整え、効果的な支援計画を協働して策定し実践する。特に夜間の障がい福祉サービスを必要とする生徒については、寄宿舎や関係機関との早期からの連携も重視する。

企業就労した卒業生については、卒業後1年間を移行支援期間と捉え、職場訪問を就労支援機関とともに計画的（原則年間3回）に実施する。卒業後2年以上経過した卒業生についても、必要に応じて情報提供や関係機関へつなぐ等の連携をする。

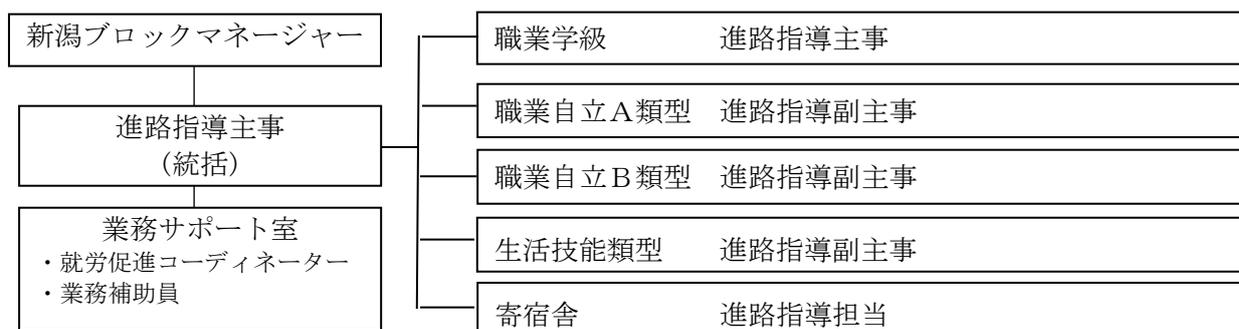
### (エ) 理解・啓発

職場実習の開拓や企業の学校見学などを通して、地域の企業及び商工会議所などの地域団体との良好な関係を築き、共生社会への理解を働き掛ける。

### (オ) 保護者や関係機関との連携

P T A進路部と協力しながら、適切な時期に進路に関する情報や研修の機会を提供する。必要に応じて、本人・保護者の不安が解消できるような個別相談を行う。また、管轄のハローワークや新潟市障がい福祉課、相談支援事業所等と連携し、効果的な支援を行う。

## 4 組織



## 5 進路に関する学習のねらい

1年	様々な職業や余暇、社会人の生活に関心をもち、より良い生き方について考えること。
2年	様々な学習活動や職場実習等を通して、自分の適性や課題、必要な支援に気づき、自分の生活をより良くしようと実践すること。
3年	卒業後の生活を意識して長期の職場実習や職業生活・社会生活にかかわる学習に取り組み、卒業後自分の生き方や役割を考えたり、進路を決定したりすること。

## 6 職場実習の計画

職場実習は、社会で働く人との交流や現場での勤労体験を通して、生徒の勤労観、職業観を育てるとともに、**前掲5 進路に関する学習のねらい** に迫ることを目的として実施する。職場実習は、職業学級及び各類型進路指導部が計画立案、調整して実施する。

### (1) 職業学級

月	1年生	2年生	3年生	備考
4		個人懇談 職場実習①調整 職場実習①		職員ガイダンス
5			個人懇談 職場実習(随時実施)	保護者ガイダンス
6			職場実習	
7	個人懇談 職業技能検定(希望者)	個人懇談 職業技能検定(希望者) 職場実習①	職場実習、個人懇談 求職登録(HW新潟 HW新津) 職業技能検定(希望者) 新規高等学校卒業予定者企業説明会 応募前職場見学開始	進路希望調査 ハローワーク定例会 (新潟・新津)
8		職場実習②調整	重度知的障害者判定検査	
9		職場実習②	職場実習 障害者合同面接会(新潟)	新潟市進路を考える会 体験会
10		職場実習②	職場実習、介護員養成科選考 障害者合同面接会(新津) 新規高等学校卒業予定者企業面接会	
11	職場体験実習 個人懇談	個人懇談 職場実習②	介護員養成科受講(～2月) 職場実習、個人懇談 福祉サービス利用申請手続開始 テクノ総合実務科第1回選考検査	ハローワーク定例会 (新潟・新津)
12	2年次職場実習説明 2年次実習希望調査	職場実習② 職場実習③調整	職場実習	
1		職場実習③ 3年次実習希望調査	職場実習 テクノ総合実務科第2回選考検査 新規高等学校卒業予定者企業面接会	
2	校内面接 個人懇談		就労支援機関「らいふあっぷ」または「こあサポート」への登録(企業内定者のみ)	ハローワーク定例会 (新潟・新津)
3		個人懇談	支援情報の引継	

### (2) 職業自立A類型

月	1年生	2年生	3年生	備考
4		施設個別見学(随時)		職員ガイダンス
5	個人懇談			保護者ガイダンス
6		春季職場実習	職場実習 就労アセスメント	
7	個人懇談 職場見学(福祉)	春季職場実習 個人懇談 職業技能検定	職場実習 就労アセスメント 個人懇談 職業技能検定(希望者)	ハローワーク定例会 (新潟・新津) 実習先希望調査 1年保護者ガイダンス
8			重度知的障害者判定検査	職場実習調整会議
9	事業所個別見学(随時)	秋季職場実習	職場実習 障がい者合同面接会(新潟)	新潟市進路を考える会 体験会

月	1年生	2年生	3年生	備考
10		秋季職場実習	職場実習（随時実施） 介護養成課選考 障がい者合同面接会（新津） 福祉サービス利用申請手続開始	
11	個人懇談	個人懇談	介護員養成科受講（～2月） 個人懇談 職場実習 テクノ総合実務科1次選考	ハローワーク定例会 （新潟・新津）
12			福祉サービス利用申請手続 締切 （聞き取り、申請等）	
1	職場見学（企業）	直 B 就労アセスメント 校内説明会	福祉サービス事業所利用調整会議 サービス等利用計画書作成 テクノ総合実務科2次選考	
2		B型希望者の就労アセスメントのための利用 （暫定支給）申請手続 （聞き取り、申請等）	福祉事業所利用の応諾書到着 障がい者合同面接会	ハローワーク定例会 （新潟・新津）
3	職場体験（企業・福祉サービス） 個人懇談	個人懇談	就労支援機関「らいふあつぷ」または「こあサポート」への登録（企業内定者のみ） 支援情報の引継	職場実習調整会議

### (3)職業自立B類型

月	1年生	2年生	3年生	備考
4		事業所個別見学（随時）		職員ガイダンス
5	個人懇談	職場体験		保護者ガイダンス （2・3年生）
6		春季職場実習	春季職場実習 就労アセスメント	
7	個人懇談	春季職場実習 個人懇談	春季職場実習 就労アセスメント 個人懇談 計画相談希望調査（2回目）	秋季職場実習先 希望調査
8				職場実習調整会議
9		秋季職場実習	秋季職場実習	新潟市進路を考える会 体験会 保護者ガイダンス （1年生）
10	事業所個別見学 （～11月）	秋季職場実習	秋季職場実習 福祉サービス利用申請手続開始	
11	職場体験 個人懇談	個人懇談	個人懇談	
12	事業所個別見学 （～1月）		福祉サービス利用申請手続 締切 （聞き取り、申請等）	保護者ガイダンス （類型別学期末懇談会）
1		直 B 就労アセスメント校内説明会	福祉サービス事業所利用調整会議	PTA 研修
2		B型希望者の就労アセスメントのための利用（暫定支給）申請、聞き取り 計画相談希望調査（1回目）	福祉サービス事業所利用の結果通知到着 移行支援会議（～3月）	
3	個人懇談	個人懇談	支援情報の引継	職場実習調整会議

#### (4) 生活技能類型

月	1年生	2年生	3年生	備考
4			誕生日を迎える生徒から障がい支援区分認定の聞き取り →可能な生徒はサービス等利用計画作成のための計画相談も同時に行う	職員ガイダンス
5	個人懇談	個人懇談	個人懇談	保護者ガイダンス
6	春季校内実習（～7月）	春季職場実習（～7月）	春季職場実習（～7月） 就労アセスメント（～7月）	
7	個人懇談	個人懇談	個人懇談	実習先進路希望調査
8	事業所見学	事業所見学		職場実習調整会議
9	秋季校内実習（～10月）	秋季職場実習（～10月）	秋季職場実習（～10月）	新潟市進路を考える会 体験会
10			福祉サービス（生活介護・B型） 利用申請手続開始	
11	個人懇談	個人懇談	個人懇談	
12	事業所見学（～1月）	事業所見学（～1月）		保護者ガイダンス
1		直B就労アセスメント校内説明会	福祉サービス事業所利用調整 会議	
2		就労アセスメントのための 利用（暫定支給）申請 手続き	福祉サービス事業所利用の結 果通知書到着	
3	個人懇談	個人懇談	支援情報の引継	職場実習調整会議

## 7 研 修

### (1) 職員ガイダンス（必要に応じて実施する）

- 進路業務・職場実習ガイダンス（4月の類型部会の中で類型ごとに実施する）
- 障がい福祉サービス利用ガイダンス（2学年職員対象に1月実施）

### (2) 保護者研修

- 保護者進路ガイダンス（企業向け、福祉サービス事業所向け、就労アセスメントそれぞれで実施）
- 福祉サービス事業所個別見学（通年）

## 8 アフターケア

### (1) 一般相談

- 卒業生の相談を随時受け付け、関係機関（就労支援機関、相談支援事業所等）と協力して支援する。

### (2) 新卒企業就労者への支援

- 就労支援機関と連携し、計画的に職場訪問を行う。

## 9 業務サポート室支援

- 校内業務遂行のための支援やアセスメント、キャリア発達のための支援を行う。
- 就労支援機関と連携しながら、民間企業等への移行支援を行う。

## 10 校外会議への出席

- ・県特別支援学校進路指導担当者会議
- ・下越地区進路担当者会議（職場実習調整会議を含む）
- ・新潟市進路を考える会実行委員会
- ・労働局雇用促進ワーキンググループ
- ・中央区就労支援連絡会
- ・ハローワーク新潟高等学校就職指導連絡会議
- ・ハローワーク新潟管内特別支援学校就職対策検討会議
- ・ハローワーク新潟管内特別支援学校就職対策検討会議

※以下会議は地域支援部と連携して参加の調整を図る。

- ・新潟市発達障がい児者支援担当者会議

# 学校保健安全計画

## 学校保健計画

学校教育目標

ひとりだちする生徒

期待する生徒像

- ・健康 健康で心の豊かな生徒
- ・創造 自分で考え実行する生徒
- ・努力 最後までがんばる生徒
- ・連帯 集団に進んで参加する生徒

学校保健目標

- 健康生活に必要な基本的な生活習慣を身に付ける
- 進んで健康な体づくりをする態度を養う

- 重点目標
- ・生活習慣病の予防(歯科・肥満)
  - ・月目標保健指導・心と体の学習の充実
  - ・心身の健康相談活動の充実

月	目標	学校行事	保健管理		保健教育		組織活動 その他
			健康管理	環境管理	保健学習	保健指導	
4月	健康診断で自分の体を知ろう	始業式 入学式 定期健康診断	保健調査 発育測定 視力検査・聴力検査 内科検診・歯科検診 尿検査(1次) 健康観察・欠席調査 要観察生徒の把握 健康診断事後措置	机・いすの適正配置 教室環境の整備 校舎内外の環境衛生整備 日常点検の実施 飲料水の水質検査 医薬品の点検 救急処置用具点検・整備		健康な生活 健康診断の事前指導 事後指導 給食後の歯みがき 保健室の利用の仕方 体育祭前の健康 けがの予防と手当て	学校保健計画 定期健康診断 計画立案実施 保健室経営計画 救急処置計画立案 保健安全部会 計画立案 生徒保健委員による健康観察表提出
5月	健康診断で自分の体を知ろう	体育祭 定期健康診断 3年修学旅行	心臓検診・結核検診(1年) 歯科検診 歯科個別指導 眼科検診 尿検査(2次) 健康診断事後措置 肥満傾向者の経過観察と指導 健康観察・欠席調査	校舎内外の環境衛生整備 日常点検の実施 薬品定期検査(学校薬剤師) 学校給食衛生定期検査(学校薬剤師) 飲料水の水質検査		健康診断の事前指導 事後指導 修学旅行時の健康と安全	健康相談 随時実施
6月	体や衣服を清潔にしよう	定期健康診断 職場実習期間	耳鼻科検診 色覚検査(1年) 健康診断事後措置 健康観察・欠席調査 肥満生徒体重測定	校舎内外の環境衛生整備 日常点検の実施 飲料水の水質検査		健康診断の事前指導 事後指導 梅雨時の健康	健康診断結果 まとめ
7月	体や衣服を清潔にしよう	職場実習期間 終業式	健康診断事後措置 健康観察・欠席調査 肥満生徒体重測定	校舎内外の環境衛生整備 日常点検の実施 飲料水の水質検査 大清掃 クリーニング	<u>心と体の学習</u> ・友達や異性との接し方 ・性被害の防止 ・規則正しい生活(睡眠、食事、休養)	体や衣服の清潔 食中毒の予防 熱中症の予防 夏休みの健康生活	1学期健康状況 まとめ 1学期の評価 職員救急法講習会(8月)
9月	規則正しい生活をしよう	始業式 職場実習期間	夏休みの健康調査 健康観察・欠席調査 肥満生徒体重測定	校舎内外の環境衛生整備 日常点検の実施 ダニまたはアレルゲン検査(学校薬剤師) 学校給食衛生定期検査(学校薬剤師)		規則正しい生活 けがの予防と手当て	

月	目標	学校行事	保健管理		保健教育		組織活動 その他
			健康管理	環境管理	保健学習	保健指導	
10月	目を大切にしよう	職場実習期間 YOYO祭	視力・要精密検査者の治療再勧告 健康観察・欠席調査 肥満生徒体重測定	校舎内外の環境衛生 日常点検の実施 飲料水の水質検査 飲料水等の水質・施設・設備 定期検査(学校薬剤師) 学校給食衛生定期検査 (学校薬剤師)		目の病気と予防	
11月	歯を大切にしよう	2年宿泊学習	歯科未受診者再勧告 健康観察・欠席調査 肥満生徒体重測定	校舎内外の環境衛生整備 日常点検の実施 飲料水の水質検査 教室の気温と湿度		むし歯や歯肉炎の予防と治療 感染症の予防 手洗い・うがい、修学 宿泊学習時の健康と安全	
12月	目を大切にしよう	終業式	健康観察・欠席調査 かぜり患状況把握 肥満生徒体重測定	校舎内外の環境衛生 日常点検の実施 飲料水の水質検査 教室の換気 教室の採光・照明定期検査 (学校薬剤師) 学校の清潔定期検査 (学校薬剤師) 大清掃 クリーニング	<b>心と体の学習</b> ・身体の変化と生命誕生 ・異性との接し方 ・性被害の防止 ・感染症予防 ・たばこ、アルコールの害 ・生活習慣病の予防	感染症の予防 手洗い・うがい 冬休みの健康生活	2学期健康状況 まとめ 2学期の評価
1月	インフルエンザを予防しよう	始業式	冬休みの健康調査 健康観察・欠席調査 かぜり患状況把握 肥満生徒体重測定	校舎内外の環境衛生整備 日常点検の実施 飲料水の水質検査 教室の換気		感染症の予防 手洗い、うがい 冬の健康生活	
2月	インフルエンザを予防しよう	入学者選考 卒業生を送る会 入学説明会	健康観察・欠席調査 かぜり患状況把握 肥満生徒体重測定	校舎内外の環境衛生整備 日常点検の実施 飲料水の水質検査 教室の換気 教室の温熱・空気清浄度 学校給食衛生検査	<b>心と体の学習</b> ・身だしなみを整えよう ・身体の変化と生命誕生 ・異性との接し方 ・性被害の防止	感染症の予防 手洗い、うがい 冬の健康生活 心の健康	
3月	健康生活を振り返ろう	卒業式 終業式	健康観察・欠席調査 修学旅行前健康調査 年間健康状況 各種統計まとめ 各種記録整理	校舎内外の環境衛生整備 日常点検の実施 飲料水の水質検査 大清掃 クリーニング		健康生活の反省 春休みの健康生活	今年度の生徒健康状況まとめ 年間評価 学校保健委員会 学校安全衛生委員会 保健室整備 次年度準備

## 心と体の学習年間指導計画

	1 学期		2 学期		3 学期		留意点
1 年	みんなと仲良く	性 被 害 の 防 止	身体の清潔	た ば こ の 害	身体の清潔	飲 酒 の 害	◎類型の計画に沿って、グループ分けや指導内容について、工夫して行う。 ・指導資料は、必要に応じて養護教諭に相談してください。 ○指導にあたっては、生活年齢を基本におき学校と保護者が連携を図り、日常生活の全ての活動と関連させて行うことが重要である。 ○生徒の発達段階や特性を考慮し、必要がある場合には個別に指導を行う。 ○みだしなみ、エチケットについては「身だしなみ講座」や実習の事前学習などで行う。
	みんなと仲良く 友達との協力		思春期の心と体の変化		思春期の心と体 (異性への関心) 私にできること		
	友達との協力 異性との接し方		思春期の心と体の変化		社会のルールとマナー 私の役割		
2 年	みんなと仲良く 私にできること	性 被 害 の 防 止	身体の清潔 私にできること		身体の清潔 心の変化	生 命 誕 生	◎類型の計画に沿って、グループ分けや指導内容について、工夫して行う。 ・指導資料は、必要に応じて養護教諭に相談してください。 ○指導にあたっては、生活年齢を基本におき学校と保護者が連携を図り、日常生活の全ての活動と関連させて行うことが重要である。 ○生徒の発達段階や特性を考慮し、必要がある場合には個別に指導を行う。 ○みだしなみ、エチケットについては「身だしなみ講座」や実習の事前学習などで行う。
	友達との協力 社会のルール		身体の変化 異性との接し方		大切な命 心の健康 (男性の心・女性の心)		
	心の健康 (不安や悩みへの対応) 異性との接し方		異性への理解と接し方 心と体のコントロール (衝動のコントロール)		心と体のコントロール (欲求やストレス) 命の尊重		
3 年	友達との協力 私にできること	性 被 害 の 防 止	身体の清潔 社会のルール		身体の清潔 社会のルール	感 染 症 予 防 / 生 活 習 慣 病	◎類型の計画に沿って、グループ分けや指導内容について、工夫して行う。 ・指導資料は、必要に応じて養護教諭に相談してください。 ○指導にあたっては、生活年齢を基本におき学校と保護者が連携を図り、日常生活の全ての活動と関連させて行うことが重要である。 ○生徒の発達段階や特性を考慮し、必要がある場合には個別に指導を行う。 ○みだしなみ、エチケットについては「身だしなみ講座」や実習の事前学習などで行う。
	異性との接し方 社会のマナー		心の健康 (不安や悩みへの対応) 心と体のコントロール (衝動のコントロール)		心と体のコントロール (欲求やストレスのコントロール) 社会のマナー		
	社会人として異性への理解と接し方		心の健康 (人の一生) 男女の役割		社会人として 心と体のコントロール		

## 学校安全計画

月	重点	安全教育		安全管理（対人・対物）	組織活動 その他	
		安全学習	安全指導			
4月	・安全に登下校をしよう ・新しい環境に慣れよう ・安全に気をつけて体育祭に取り組もう	<家庭生活> ・アイロン・ミシン・はさみ等の安全な使い方 ・調理実習における衛生管理 ・調理器具の安全な使い方 ・洗濯機・掃除機等の電化製品の安全な使い方	登下校の安全指導(全体・学年学級・現場) 避難経路の確認 基本的な生活・きまりの確認、集団行動の約束 人との関り方 心の安定 安全な携帯電話利用 連休前安全指導	校舎内外の安全点検 火気管理責任者名札掲示 防災設備点検・防災計画周知 避難経路図作成掲示確認 防犯ブザー・避難口の点検 通学路調査・通学路の安全点検 生徒指導用顔写真作成・管理 生徒の状況把握健康観察 飲料水の点検	保健安全部会 計画立案実施 学校安全計画立案実施 救急処置計画立案実施 亀田駅・亀田交番との連携・協力 ○寄宿舎での安全は別紙	
5月	・安全に気をつけて運動しよう	<美術> ・カッター・はさみ・絵の具等の管理のしかたと安全な使い方	修学旅行における安全（3年） けがの防止	校舎内外の安全点検 グラウンド整備（危険物除去）		
6月	・安全に気をつけて働こう	安全な使い方	避難訓練（火災）	校舎内外の安全点検		
7月	・夏を安全にすごそう	<保健体育> ・安全な集団行動 ・運動ルールとマナー ・運動用具の安全な使い方	夏休み前の安全指導	校舎内外の安全点検	職員救急法研修会 職員不審者対応研修会	
8月			水の事故防止			
9月	・安全に気をつけて、運動しよう ・安全に気をつけて働こう	・人との関り方 ・けがの予防 <LHR>	登下校の安全指導 避難訓練（不審者） けがの防止	校舎内外の安全点検 避難口の点検確保 台風下の窓の管理 通学路の安全点検		
10月	・安全に気をつけて、YOYO祭を成功させよう	<地域生活> <職業生活> ・機械器具の安全な取り扱い	人との関り方・心の安定	校舎内外の安全点検		
11月	・安全に気をつけて働こう ・冬を安全に過ごそう	・安全に働くための健康管理 ・安全な環境	基本的な生活のきまりの確認 集団行動の約束 安全な携帯電話の利用 暖房使用時の安全指導 校外宿泊における安全（2年）	校舎内外の安全点検 暖房器具の安全点検 管理箇所の安全点検		
12月	・安全に登下校をしよう（雪道）		雪道の交通安全	校舎内外の安全点検 暖房器具の安全点検 体育施設・器具の点検	職員研修（ストレス解消活動）	
1月			避難訓練（地震） 降雪・積雪時の安全	校舎内外の安全点検 避難口の点検確保 暖房器具の安全点検		
2月			卒業後の安全指導（3年）	校舎内外の安全点検 暖房器具の安全点検 施設設備の点検修理改善		校内事故発生状況まとめ
3月						

## 特別活動

### 特別活動の全体計画

#### 特別活動の目標

- 望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。

#### 当校の特別活動のねらい

- いろいろな場面で指示を理解したり自分の意見を伝えたりしながら、コミュニケーションの力を高める。
- 力を合わせて行事を作り上げる喜びを実感する中で、互いを理解し、尊重する気持ちを育てるとともに、生徒の自主性、実践的な態度の伸長を図る。
- 学年相互や類型間の交流、地域の人々との触れ合う機会を通して、社会性を養い好ましい人間関係を築く力を育てる。

<p>ホームルーム活動</p> <p>生徒会活動</p> <p>学校行事</p>	<p>方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ホームルームや学校の生活への適応と充実を図りながら、生徒会活動や学校行事への参加に向けての準備や当面する諸課題への対応及び健全な生活態度を育成する活動を行う。</li> <li>○生徒会総務、各委員および各実行委員としての役割を理解し、任された仕事に責任をもって取り組む態度の育成に努めながら学校生活の充実や改善向上に向けての活動を行う。</li> <li>○より大きな集団の中での幅広い人間関係経験を通し、社会性の育成に努めながら、日常の学習成果を生かせるように多彩な内容をもつ総合的、体験的な活動を行う。また、行事の内容を精選し見通しをもち安心して取り組めるよう配慮しながら、自主性や実践的な態度を育成する活動を行う。</li> </ul>
--	--

#### 実践を推進する基盤

- |          |           |             |        |
|----------|-----------|-------------|--------|
| ○生徒会役員選挙 | ○ホームルーム活動 | ○委員会活動      | ○江南タイム |
| ○体育祭     | ○ＹＯＹＯ祭    | ○いじめ見逃しゼロ活動 |        |

- 生徒の特性を生かし、生徒がもてる力を発揮しながら主体的に活躍できる場を提供する。
- 生徒会総務の生徒には行事のねらいを伝え、リーダーとしての自覚をもちながら活動を進めることができるようにする。また、生徒のアイディア・意見を大切に、できる限りその実現に努める。
- 生徒会総務、各委員の活動は、徐々に生徒が自分たちだけで運営できるように計画的に指導していく。
- 体育祭やＹＯＹＯ祭などの学校行事では、類型間の交流を図るとともに、地域の人々と触れ合う機会を設定する。

## 道徳教育及び人権教育、同和教育

### 道徳教育及び人権教育、同和教育の全体計画

#### 【新潟県の学校教育の重点】

- 互いを認め合い、一人一人を大切にする教育の推進（道徳教育の充実）
- いじめをしない、許さない、命を大切にする意識の醸成（「いじめ見逃しゼロスクール」の推進）

#### 【当校の道徳教育及び人権教育、同和教育のねらい】

- 基本的な生活習慣の確立をはかり、規範意識を高め、社会に貢献する意欲的な態度を育てる。
- 自分自身の生き方について考え、将来にわたって主体的に生きる態度を育てる。
- 全教育活動を通して、人の心の痛みが分かり、思いやりのある言動ができる生徒を育てる。

#### 【方針】

- 中学生時の指導との相互性を図ったり、社会生活における交際範囲の広がりや考慮したりして個別の実態に即して指導する。
- 学習や生活等の実際の場面を通じ、直接的に継続して指導する。

#### 【具体的な取組等】

- 『「いじめ見逃しゼロ」標語・ポスターコンクール』への参加を通して、人権に対する意識を高める。
- 各指導の形態における「道徳教育及び人権教育、同和教育に関わる指導」の重点目標への取組。
- SNS やLGBTQ 等の課題を通じて人権意識を高める指導に関する職員研修の機会を設ける。

各教科等（各指導の形態）における「道徳教育及び人権教育、同和教育に関わる指導」の重点目標

1・2組	3組	4組	5・6組	重点目標	
地域生活			日常生活	・集団での活動を通して、お互いに協力したり励ましあったりする態度を育てる。	
職業演習		職業生活		・使う人、利用する人の気持ちを考えて、よりよい作業をしようとする態度を育てる。 ・仲間の作品や技能を認め、互いに励まし合ったり協力したりする態度を育てる。	
職業教養 一般教養	職業教養 一般教養	地域生活		・気持ちや体験を発表し合ったり、感謝の気持ちを礼状に書き表したりする活動を通して、様々な考えに触れ、自他を大切にする気持ちを育てる。	
	職業国語 職業数学			・時刻表の読み取り、買い物学習等の活動を仲間と一緒にやることを通じて、助け合いながら問題を解決していく態度を育てる。	
情報資格				・マナーやルールを守ってネットワークを活用する活動を通して、情報モラルを育てる。	
選択音楽・選択美術					・表現活動や鑑賞を通して、お互いのよさを認め合う気持ち、態度を育てる。
体育					・一緒に運動できる仲間がいることに感謝の気持ちをもてるよう育てる。
家庭生活					・お互いの個性や技能を認め合い、学習や実習に協力して取り組む態度を育てる。
総合的な探究の時間（江南タイム）					・仲間との関わりを広げることで、様々な考えに触れ、自他を大切にする気持ちを育てる。 ・自分のよさに気づき、自信につなげられるようにする。

## 総合的な探究の時間

### 総合的な探究の時間の全体計画

#### 【学習指導要領の目標】

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

- (1) 探究の課程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探求の意義や価値を理解するようにする。
- (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

#### 【当校の総合的な探究の時間のねらい】

○卒業後の進路や将来の生活、自分の生き方について考えることができる。

#### 【方針】

○職業演習、職場実習、宿泊施設、公共施設の利用など、各類型で卒業後の生活を見据えた体験的な学習を計画し、実践及び評価する。

#### 【具体的な取組】

- 職業生活や地域生活・家庭生活などの各学習、職場実習等で学んだことをもとに、自分の進路や将来の生活・生き方について考え、まとめたり、発表したりする学習を行う。
- 年間25時間程度実施する。実施時期は各類型により異なる。
- 職業学級は職場実習や授業、家庭での生活を振り返り、成果と課題や今後の目標を考えて発表する。
- 職業自立A類型は、職場実習や職場見学、授業等を振り返り、自分の将来の生活や夢の実現のために、今、自分が頑張れることについてまとめて発表をする。
- 職業自立B類型は、各学年に応じて校内実習や職場実習、授業等の振り返りをポスターにまとめて発表をする。
- 生活技能類型は、職場実習や校外学習等を写真や映像等を使って振り返り、学習記録としてまとめたり、発表したりする。

## キャリア教育

### キャリア教育の全体計画

#### 【学習指導要領の目標】

生徒が自己の在り方生き方を考え、主体的に進路を選択することができるよう、学校の教育活動全体を通じ、計画的、組織的な進路指導を行い、キャリア教育を推進すること。

#### 【当校のキャリア教育のねらい】

○将来の働き方や暮らし方、楽しみ方を考え、卒業後の進路を主体的に選択、決定できる力を育む。

#### 【方針】

- 生徒の発達の段階やその発達課題の達成と深く関わりながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる「意欲」「主体性」「生きる力」「実社会に通用する力」「働き続ける力」を育てていく。
- 人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力など、キャリア教育にかかわる視点を念頭におき、学習活動を設定する。
- 進路指導部と連絡、調整をしながら学習を進める。
- 地域の人的資源を積極的に活用する。
- 授業実践を累積し、計画の妥当性を年度末に評価する。

#### 【具体的な取組】

##### (1) 各類型部での計画策定と実践

- ①学級・類型でのキャリア教育の重点目標と目標達成の方策を定める。
- ②重点目標、目標達成の方策、具体的能力・態度を担当職員間で十分に共通理解した上で授業実践や支援をする。
- ③「ひとりだち」に向けて身につけさせたい力の内容表を基にした授業実践を行う。

##### (2) 実践を通して検証と改善

- ①キャリア教育プログラムに示された「具体的能力・態度＝育てたい生徒の姿」の内容が適切かどうかを検討する。
- ②上記の検証と改善事項を、各類型のキャリア教育プログラムおよび年間指導計画に反映する。

##### (3) 卒業後のアフターケア

- ①同窓の集いや職場訪問等アフターケアの充実を図る。
- ②就業・生活支援センターや相談支援事業所などに個別の教育支援計画を提示し、スムーズな支援体制の構築を行う。

キャリア教育プログラム

	観点	職業学級		A類型		B類型		生活技能類型		
		重点項目	目指す姿	重点項目	目指す姿	重点項目	目指す姿	重点項目	目指す姿	
基礎的・汎用的能力	人間関係・社会形成能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己理解・他者理解</li> <li>○集団参加・協力・協同</li> <li>○意思表示</li> <li>○挨拶・返事</li> <li>○清潔・身だしなみ</li> <li>○場に応じた言動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○集団参加・協力・協同</li> <li>○意思表示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○リーダーとそれを支える人の立場を理解し、チームとして協力して活動や仕事をすることができる。</li> <li>○異年齢の人や多様な他者と場に応じたコミュニケーションをとることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○意思表示</li> <li>○挨拶・返事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分と違う意見を受け入れながら自分の意見を適切に伝えることができる。</li> <li>○適切な言葉遣いで相手や場面に応じた挨拶や返事が自ら進んでできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○意思表示</li> <li>○挨拶・返事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○困った時に自ら支援を求めたり、相談したりする関係をつくることことができる。</li> <li>○適切な言葉遣いで返事や挨拶をすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○意思表示</li> <li>○挨拶・返事</li> <li>○場に応じた言動(ルールの遵守)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○言葉や身振り、表情等、自分なりの方法で自分の意思を他者に伝えようとする事ことができる。</li> <li>○言葉や身振り、表情等、自分なりの方法で挨拶や返事をする事ことができる。</li> <li>○ルールやマナーを尊重して、集団活動や体験的な活動に参加することができる。</li> </ul>
	自己理解・自己管理能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>○長所・短所の理解</li> <li>○職業適性の理解</li> <li>○責任感</li> <li>○自律</li> <li>○心理的な安定</li> <li>○障害の理解</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職業適性の理解</li> <li>○自律</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の能力・個性や興味・関心を生かした進路を選択しようとしている。</li> <li>○自分の意志で決めたことには、自分に厳しく最後まで責任をもつことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○長所・短所の理解</li> <li>○障害の理解</li> <li>○責任感</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の長所や個性を理解し自分や他者を大切にできる</li> <li>○自分の障害特性を正しく理解し適切な対処をすることができる。</li> <li>○自分で決めたことは、責任をもつことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職業適性の理解</li> <li>○自律</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分のやりたい活動や自分に向いている活動を自分で選ぶことができる。</li> <li>○自分で選んだことや行動したことには自分で責任をもつことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○心理的な安定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活リズムの確立、スケジュール提示、個別のスペースの確保等、個々に必要な支援を受けることで心理的な安定を図り、様々な活動に参加することができる。</li> <li>○余暇につながる活動(趣味)を促進する(深める・広げる)ことができる。</li> <li>○簡単なスポーツ(球技・散歩)を通して、健康の維持、体力の向上を図ることができる。</li> </ul>
	課題対応能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>○興味・関心</li> <li>○環境への適応</li> <li>○主体性</li> <li>○変化対応</li> <li>○改善</li> <li>○向上心</li> <li>○遂行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主体性</li> <li>○遂行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○様々な課題や仕事内容に積極的に取り組み、主体的に解決しようとする事ことができる。</li> <li>○困難な課題や苦手なことに対して、最後まで取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主体性</li> <li>○向上心</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○様々な課題や仕事内容に主体的に取り組むことができる。</li> <li>○苦手なことや難しいことでもより高いものを目指して努力することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主体性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○決められた仕事や係活動に確実に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○興味・関心</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○様々な活動を体験することをを通して、感じる力、考える力の幅を広げることができる。</li> </ul>
	キャリアプランニング能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>○働くことへの興味・関心</li> <li>○役割の理解</li> <li>○自己の生き方を考える</li> <li>○情報収集・活用</li> <li>○働くことの意義</li> <li>○学ぶことの意義</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己の生き方を考える</li> <li>○働くことの意義</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職業への関心があり、職場体験や様々な学習を通して、自分に合った進路や職業を考え、決めていこうとしている。</li> <li>○仕事の社会的役割や意義を理解し、自分の生き方を考えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己の生き方を考える</li> <li>○学ぶことの意義</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職業への関心があり、職場体験や様々な学習を通して、自分に合った進路や職業を考え、決めていこうとしている。</li> <li>○将来設計に基づいて、今取り組むべき学習や活動の意義を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己の生き方を考える</li> <li>○働くことへの興味・関心</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職業への関心があり、職場体験や様々な学習を通して、自分にあった進路や職業を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○働くことへの興味・関心</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○職業生活や職場実習、係活動等、様々な場面で様々な役割を果たすことをを通して、働くことについて興味・関心をもつことができる。</li> </ul>

## 交流及び共同学習

### 交流及び共同学習の全体計画

#### 学習指導要領の目標

- ① 生徒の経験を広め、社会性を養い、豊かな人間性を育てる。
- ② 同じ社会に生きる人間として、互いを正しく理解し、共に助け合い、支え合って生きていくことの大切さを学ぶ。

#### 当校の交流及び共同学習のねらい

- 交流を通し、相互教育の大切さを学ぶとともに、生活経験を広め社会性を身に付ける。
- 近隣地域における学校相互の連携や交流を図り、理解を深める。

#### 方 針

- 交流学習の実施に当たっては、様々な活動を効果的かつ円滑に進めるために、地域や学校との連携や協力体制を作り、適切な人間関係や社会性の育成に向けて取り組んでいく。
- 共同学習においては、各類型で相手校の教育課程や生徒の実態を十分考慮し、ねらいや評価項目、評価方法等について協議をした上で、適切な活動を行っていく。

#### 具体的な取組等

- 江南タイムにおける学年活動・全校活動・グループ活動
- 類型間での各教科の学習や活動における交流学習
- 近隣の学校との授業や行事を通しての交流

## ICT教育

### ICT教育の全体計画

情報通信技術 (ICT : Information and Communication Technology)を利用した教育

当校ICT教育のねらい

- パソコン・タブレット型端末等のICT機器を活用し、表現、コミュニケーションを主体的に図ろうとする生徒を育成する。
- ICT機器とそのアプリの利用を通して、情報活用能力(\*メディアリテラシー)を高める。

方針

- ICTを利用できるように機器やアプリ、環境を整え、「分かる授業、できる授業、楽しい授業」に活用していく。
- 活動の様子を画像や動画で記録し、振り返りや今後の学習に生かして行く。
- 文字や言葉で表現しにくい生徒が意思や感情を表現できるように、タブレット型端末の特性を生かした方法を提案していく。
- 新聞の記事をインターネットで補足したり、関連した情報を調べたりすることができる。
- ICT機器により生徒の特性や行動の様子を視覚化し、職員間の共通理解や、就労先への紹介や連携機関への引き継ぎ等に利用する。

具体的な取組等

- ・職業生活、地域生活、日常生活の指導、各教科等でICT機器を使い、効果的に学習内容を伝えるとともに、生徒自身が活用できるよう支援を行う。
- ・体育祭、YOYO祭、校外学習、修学旅行、総合的な探究の時間でICT機器を活用し、事前学習、活動の様子を記録、振り返り、事後指導を行う。
- ・情報ステーション (PC室)、タブレット端末の保管場所の環境整備を定期的に行い、機器の使用状況を確認しながら、効率良く活用できるようにする。
- ・タブレット端末の使用マニュアルの作成・活用を行うとともに、機器、各種アプリのインストール、運用、管理について情報広報部を中心に適時行っていく。
- ・外部機関による講習会、校内研修会を行いICT機器の有効な活用方法を職員間で広げていくと共に生徒にフィードバックしていく。

**メディアリテラシー**とは

下の3つを構成要素とする、複合的な能力のこと。

- (1) メディアを主体的に読み解く能力。
- (2) メディアにアクセスし、活用する能力。
- (3) メディアを通じコミュニケーションする能力。特に、情報の読み手との相互作用的(インタラクティブ) コミュニケーション能力。  
(総務省HPより引用)

# UDL

## UDL の全体計画

UDL (Universal Design for Learning)とは

- ・全ての人が等しく学びの機会が得られるようにするカリキュラムを開発するための原則集。
- ・誰にでも使える（一人のためでなく、一つの方法を全てに当てはめるようなものでもない）、個々のニーズにカスタマイズや調整ができる、より柔軟な教育の目標、方法、教材教具、評価を作るための案を提供するもの。

当校のUDLのねらい

- 学びやすく、生活しやすい、すべての人に配慮した授業づくり

方針

- 当校におけるUDLの位置付けの検証
  - ・当校の特性を考慮した、特別支援学校におけるUDLのあり方を探る。
- UDLの普及
  - ・職員への啓発、理解を進めるための取り組みを計画し、実行する。
- 授業実践
  - ・UDLの観点を取り入れた授業実践を行う。

具体的な取組等

- 各類型のUDLスタンダードをもとにした授業実践
- 新入職員を対象としたUDL紹介、授業協議会を通して各類型の取り組みの共有化
- UDL項目の見直しと新しい項目作り

## N I E

### N I Eの全体計画

N I E(Newspaper in Education)とは、新聞が持つ特性を生かして、子どもたちに生涯学習の基礎となる力、特に「情報活用能力」を育成するために、新聞教材の開発と活用の研究、普及を目指す活動である。

#### 当校のN I Eのねらい

- 新聞に親しみ、新聞に対し興味・関心を持つ
- 体験的な活動や言語活動「話す・聞く・書く・読む」に取り組み、自分の考えを表現する。
- 情報を生かし、課題解決に向けて取り組む。

#### 方 針

- ねらいに迫るための研究の計画と実践
- 新聞に親しむ活動・環境整備

#### 具体的な取組等

- 昨年度までの成果を踏まえて、生徒の実態に即した実践を行う。
- 閲覧コーナーを整備する。また、新聞記事感想文コンクール等を紹介する。

令和5年度 校務分掌

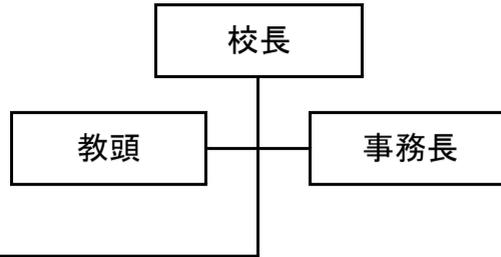
令和5年4月1日

■PTA事務局

◎教務主任 校長 教頭 類型主任(学年主任) 寮務主任 寄宿舎主任 進路担当 会計:
--

■運営委員会

◎教務主任 校長 教頭 事務長 類型主任(学年主任) 進路主事 生徒主事 寮務主任 寄宿舎主任 養護教諭
---



■主任等

教務主任		運用主任	
進路指導主事		保健主事	
進路ブロックマネージャー		寮務主任	
生徒指導主事		寄宿舎主任	
特支/生活/地域Co		司書教諭	
研究主任			

■類型部・学年部

級外				学年	類型主任	類型副主任	類型進路○主任	1年主任:	2年主任:	3年主任:	類型副任 ( )は学年
教務主任	進路マネ	生徒主事	養護教諭					1年副主:	2年副主:	3年副主:	
				類型				1年担任	2年担任	3年担任	
				職業学級	1組						
					2組						
				職業自立A	3組						
				職業自立B	4組						
				生活技能	5組						
					6組						

■舎務部

主任			舎監	棟	男子棟 ○佐々木	女子棟 ○工藤周	指導部		運営部		
寮務主任	寮務副主任	寄宿舎主任					安全防災	自治行事	総務	庶務会計	情報研修
				自立生活			男子棟				
				生活訓練			女子棟				

■運営部

教務
研究推進
生活支援
進路指導
地域支援
登下校
保健安全
視聴覚
情報広報
給食庶務

■指導部

総合
職業生活
家庭生活
地域生活
音楽
美術
保健体育
特別活動
日生自立活動
交流共同学習
道徳人権同和

■各種委員会・事務局

学校評議員会
安全衛生委員会
学校保健委員会
体育祭委員会
Y O Y O 祭委員会
入学者選考委員会
医療的ケア検討委員会
校務支援システム推進委員会
特支学校体育連盟
職業技能検定

■渉外・その他

同窓会	進路部
育成会	
放課後活動	教頭
障害者スポーツ大会	保体部
音楽祭等	音楽部
美術展等	美術部
自立支援協議会	
就学支援委員会	◎教頭
周年事業	◎教頭 教務 PTA事務局 特別活動部

■事務部

予算・物品会計・奨励費・旅費
給与・旅費・福利厚生・証明書
連絡業務・校地校舎環境整備
給食業務全般

■業務補助

全体統括	進路指導主事
全体統括補助	進路指導部
就労促進コーディネーター	
業務補助員	

■福利厚生（高遥会）

1, 2組	3組	4組	5, 6組	寄宿舎	4年
-------	----	----	-------	-----	----

## 運営部の計画

部名	教 務 部	
前年度の評価 ◎ 成果 ▼ 課題	◎各分掌と連絡・調整をし、速やかな予算の施行、教育活動を円滑に進めることができた。 ◎「校務支援システム」の導入に伴い、各類型教務を中心にスムーズに運用開始できた。	
運営方針	○教育目標達成を目指した教育課程の編成・実施の推進に努める。 ○教育活動が円滑に行われるよう、各分掌との連絡・調整及び全体の業務支援に当たる。 ○出席簿管理や事務への提出等がスムーズに行われるように連絡・調整を行う。 ○「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」「通知表」「指導要録」の作成が効率的に行われるように作成スケジュールの見直し、早めの提示を目指す。	
主な業務内容 【担当者】	○教育課程の編成、時程表、会議日・研修日設定、月暦 ○全体業務支援 (環境整備、美化、業務サポート室支援、教材等作成支援 等) ○個別の教育支援計画・個別の指導計画・通知表 ○指導要録、入学・転入学・退学・卒業 ○出席簿、出席統計・報告 ○介護等体験、教育実習 ○儀式的行事の計画・運営 ○物品購入 ○次年度用の臨時集金袋・就学奨励費明細配付袋の作成	
重点目標	評価項目	評 価
分掌間の連絡・調整及び全体の業務支援	○学校全体の業務がスムーズに行われるように連絡・調整や環境の整備をはじめとした支援を行う。	
出席簿の効率的な処理と事務との連携	○記載の手順や方法について朝会や回覧を利用し、周知徹底する。 ○事務と連絡を取り合い、迅速な処理をする。 ○保存期間(5年)を過ぎたものは順次、確実に破棄する。	
個別の教育支援計画、個別の指導計画、通知表、要録業務の円滑な推進	○個別の教育支援計画・指導計画、通知表の作成・活用が効率的に行われるように早めにスケジュールを示したり、時期が近づいたら類型ごとに言葉掛けをしたりする ○指導要録について、保管期間(学籍部分は20年、指導部分は5年)を過ぎたものは順次、確実に破棄する。	

運営部名	研究推進部	
前年度の評価  ◎成果 ▼課題	◎夏季休業時に学習指導要領の理解についてと今後の研修の進め方について研修を行った。研修を通して職員が今後の校内研修を行うにあたっての基本となる学習指導要領の趣旨の理解が一部進んだ。 ◎生徒の資質能力を育むための手段としての「主体的で対話的で深い学び」の実践を今年度のテーマとし、授業者間の話し合いを通して単元指導計画作成し、生徒の主体的で対話的で深い学びの姿をイメージしたり、具体的な手立てを考え、実践したりするなど、授業改善を図るためのきっかけを提案できた。 ◎研修にあたっては複数人での研修を基本とし、事前の職員の話し合いや打ち合わせの機会を必然的に設けられるよう、進め方を工夫した。 ◎冬季休業時に類型で実践の振り返りをした。授業実践を通して得た生徒の「主体的・対話的で深い学び」の具体的姿やその姿の実現に向けての手立てや配慮（支援）とはどのようなことが考えられるかをテーマに、各類型でのファシリテーションを通して考えを共有できた。 ◎研修にあたっては、限られた時間で効率よく職員の考えを共有したり、まとめたりすることができるよう、ホワイトボードアプリの「Jam board」使って研修を進め、ICTの活用研修にもなった。 ◎全職員からICT機器を活用した教育実践してもらい、各自が学習活動への有効な活用を知る機会となった。 ▼外部講師を招いての研修を実施できるとよかった。 ▼教科の視点を踏まえた学習活動見直しや改善が必要である。生徒がどこでどのような力を身に付けていくか単元構成をとおして検討していく機会が必要と考える。 ▼類型によっては現在の学習活動が生徒の実態や課題に合わなくなっているものがある。現在の学習活動を振り返り、よりよい教育活動の実施のために何が必要で、どのような改善策があるのかを教職員が検討する機会が必要と思われる。	
運営方針	○研修にあたり、職員のニーズ等を把握した上で研修の時期や内容を設定し、職員が無理なく主体的に研修に取り組めるような運営を行う。 ○学習指導要領の理解を深める研修を設定する。 ○各種研修会や指導・支援に有効と思われる図書などの情報を提供する。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             今年度研修テーマ（仮題）              「ひとりだちに向けて主体的に活動に取り組む生徒の育成」              ～生徒の「ひとりだち」を具現化するための教育課程の見直し～（1年次）           </div>	
主な業務内容 <b>【担当者】</b>	○職員研修の企画・提案・実施 ○教育活動（年間指導計画）の見直し ○ICT機器活用の推進（情報教育部と連携） ○寄宿舎の研究推進 ○職員への各種研修会の案内の及び取りまとめ ○研究誌・研修図書・研修DVDの紹介・購入及び管理	
重点目標	評価項目	評価
校内研修の充実	<b>【運営活動】</b> ・研修テーマの実現に向けた職員研修計画の提案と計画的に研修を実施する。 ・職員のニーズに沿った研修の設定と全職員が主体的に研修に参加することができる工夫をする。	
各種研修会や職員用図書等の紹介	<b>【運営活動】</b> ・職員への各種研修会の案内や集約、研修用図書やDVDなどを購入し、職員の自己研修に役立つよう紹介をする。	

運営部名	生活支援部	
前年度の 評価  ◎ 成果 ▼ 課題	◎▼生徒指導上の問題が起きたときは、おおむね組織的な対応をすることができた。今後、対応マニュアルに沿って迅速な報告、対応ができるように徹底していきたい。 ◎▼類型によって、生活支援が必要な生徒に関して、関係機関と情報交換を行ったり支援会議を実施したりするなどして、個に応じた対応をすることができた。今後は、いろいろな視点からの意見を聞き適切な支援方法を考えていく。 ◎「生徒指導集会」「類型別集会」「SNS の指導」「デート DV 防止セミナー」「SOS の出し方指導」「いじめに関する学習」等予防的な指導を計画的に行うことができた。「SNS の指導」に関しては、今後、各類型で年各指導計画に入れて計画的に実施することとした。 ◎▼「生徒指導たより」等で、学校いじめ防止基本方針に基づいた取組の様子を紹介することができた。一定の成果があると考えているが、今後も丁寧な説明を心掛け、家庭との連携を一層深めていく必要がある。また、学校の取組だけでなく家庭や地域での役割についても啓発していきたい。 ◎R 4 年度から無記名式いじめアンケートを実施した。今後も継続し、当校の実態に合ったアンケート方法を検討していく。	
運営方針	○自己有能感・有用感を高め、自立心をはぐくむ指導を進めるとともに、問題発生時の迅速かつ組織的な対応に努める。 ○生活支援が必要な生徒の把握と支援方針の検討を行い、校内支援体制や関係機関との連携体制を整える。	
主な業務 内容 【担当者】	<u>生徒指導関連業務</u> ○全体計画、全体指導、講演会等の企画 ○生徒理解会議の運営、類型間・学舎情報共有、調整 ○類型部、寄宿舎における生徒指導の推進 ・類型別指導（SNS、SOS の出し方）・いじめアンケート・教育相談の計画、実施 ・生徒指導に関する相談、情報提供 ・保護者啓発、連携 ○学校いじめ防止基本方針の評価、見直し ○学校いじめ対応マニュアルの評価、見直し ○デートDV防止セミナーの計画、運営（職業、3組） ○いじめ・暴力防止セミナーの計画、運営（4組） ○いじめに関する学習の計画、運営（職業、3、4組） ○いじめや生徒指導に関する職員研修の計画、運営 ○学校派遣カウンセラーの受け入れ、校内調整 ○特別支援学校生徒指導担当者連絡協議会 ○新潟地区高等学校生徒指導連絡協議会 <u>生活支援関連業務</u> ○生活支援の必要な生徒の把握 ○関係機関との連絡調整、支援会議の実施 ※進路部と連携 ○家庭、地域生活支援に関する相談、情報提供等	
重点目標	評価項目	評価
生徒理解の推進	○いじめアンケート、教育相談を年に2回以上実施する。 ○生徒理解会議や回覧等を通して、類型間の情報交換及び全職員への情報提供を行う。	
予防的な指導に関する具体的な取組	○生徒指導集会や各類型集会等を設定し、全校や類型別に指導を行う。（学期始め、長期休業前など）	
いじめ防止基本方針に基づいた取組	○いじめに関する学習を計画的に実施する。 ○「生徒指導たより」等で、学校いじめ防止基本方針に基づいた取組の様子を紹介する。	
生活支援が必要な生徒の連携支援体制の構築	○家庭、地域生活も含め、生活支援が必要な生徒について早期に把握し、相談支援事業所や各関係機関と連携しながら改善に向けた支援を実施する。	

運営部名	進路指導部	
前年度の評価 ◎成果 ▼課題	◎実習先の企業や福祉サービス事業所、関係機関と連絡を取り合いながら適切な進路指導を行うことができた。 【令和4年度卒業生の進路状況】 ・企業就労…16人 ・福祉就労26人（就労移行2人、B型11人、自立訓練3人、生活介護10人） ・在宅1人 ◎企業就労と福祉サービスの利用に分けた進路ガイダンスを通して、積極的な情報発信に努めた。保護者アンケートの進路指導にかかわる項目では、肯定的な評価が9割前後であった。 ◎障害福祉サービスの内容や申請方法などについて職員向けの説明会を行った。 ◎新規開拓企業数…15社 企業担当者等の学校見学受入数…1件 ▼コロナ禍の影響で「同窓の集い」は中止とした。 ▼キャリア教育プログラムの活用、進路だよりの内容や発行回数について、進路指導部内で再検討する。	
運営方針	○保護者や学級担任等の学校職員と共通理解を図り、卒業後の生活を見通した計画的な指導と支援の体制を整える。 ○生徒・保護者・職員・企業等へ積極的な情報提供と発信を行う。 ○就業支援機関等と連携を図り、卒業生の職場定着支援に努める。	
主な業務内容 【担当者】	1 職場実習 ・類型ごと実習 ・実習事務手続き業務 ・実習生カード確認 ・実習用お茶購入等 ・各類型の支援 2 企業就労支援 ・各種ハローワーク会議への参加 ・重度判定検査 ・求職登録 ・職場開拓 ・支援センター登録 ・企業学校見学受入 等 3 福祉サービス利用支援 ・福祉サービス事業所実習調整会議 ・就労アセスメント実習手続き ・利用申請 ・サービス等利用計画 等 4 研修 ・職員向けガイダンスや研修 ・保護者向けガイダンスや研修（・各種ハンドブック） ・保護者個別事業所見学 ・PTA進路部研修会への協力 等 5 外部機関 ・新潟市進路を考える会 ・アビリンピック ・入所式、終了式等行事 ・テクノスクール ・訪問販売 ・校外会議 ・外部講演会 ・ジョブトレ 6 職業技能検定 ・職業技能検定事務局、実行委員会 ・職業技能検定開催運営 7 調査 ・校内進路希望調査 ・福祉事業所次年度受入可能、条件調査 ・各種アンケート調査 8 広報 ・進路だより ・進路揭示版、玄関ラック整理 ・外部からの進路宛文書の校内周知 等 9 アフターケア ・企業訪問 ・福祉事業所、GH等への情報提供 ・ケース会議への参加 ・業務サポート室の運営支援、進路支援 進路生活支援会議 等 10 同窓会 ・同窓会の企画、当日の運営、同窓会入会式 11 キャリア教育にかかわる業務全般	
重点目標	評価の観点	評価
一人一人の進路実現	○各類型の実態や計画に応じて、計画的かつ段階的な進路指導を行う。	
生徒・保護者・外部機関等への積極的な情報発信と提供	○進路だよりを発行し、進路にかかわる最新の情報を提供する。（学期1回程度 必要に応じて） ○保護者向け進路ガイダンスや企業見学会などを通じて、生徒の取組に対する理解・啓発を促す。 ○職員向けの進路研修を計画的に行う。	
職場定着のための支援	○就労支援機関とともに卒業後1年間、原則3回職場訪問を行う。	
キャリア教育プログラムの活用と見直し	○キャリア教育プログラムの活用方法について、全職員に周知する。 ○キャリア教育プログラムの見直しを必要に応じて行う。	

運営部名	地域支援部	
前年度の評価  ◎ 成果 ▼ 課題	◎現在の状況下でも、向陽高校との交流、中学校への研修支援活動等できる範囲で行うことができた。今後、中学校への研修支援活動が増えることが予想される。オンラインでの実施等も視野に入れて計画していけるとよい。 ◎▼今年度もオンラインで夏季・冬季とも特別支援教育コーディネーター等研修会を実施することができた。研修内容も好評で、外部から夏季は49人、冬季は41人の申込みがあった。年間2回行っている研修会の回数を検討していきたい。 ◎放課後等デイサービスや移動支援等の福祉サービスを利用している生徒の一覧表を作成し必要に応じて活用することができた。 ▼自立支援協議会（江南区、秋葉区）での内容を、他職員にも紹介できるようにしていく。	
運営方針	○地域の特別支援教育に対するニーズに対応した相談・研修支援を検討し、校内の分掌組織の協力を得ながら地域支援を実施する。 ○地域（小・中・高・施設・事業所等）の連携ネットワーク機能を高めるための活動、働き掛けを行う。	
主な業務内容 <b>【担当者】</b>	○相談支援、情報提供、関係機関との連絡調整 ・電話相談、来校相談、訪問相談 ○研修支援、授業協力 ・特別支援教育コーディネーター等研修会（年1～2回）の企画、運営 ・保護者向け研修会の企画、運営 ※進路指導部と連携 ・小中高等学校校内研修講師 ・新潟向陽高等学校出前授業講師 ※交流共同学習部と連携 ○教材等の提供支援 ※日生自立活動部と連携 ○関係機関との連携、協力 ・江南区就学支援委員会専門部員 ※区から依頼された職員 ・自立支援協議会への参加、協力 ※進路指導部と連携（秋葉区、江南区） ・下越特別支援教育コーディネーター連絡協議会 ・福祉サービス機関（放デイ、移動支援事業所等）との連携 ・福祉サービス利用者一覧の作成（5月の懇談以降）	
重点目標	評価項目	評価
研修支援	○依頼に応じて地域の小学校・中学校・高等学校へ出向き、研修支援活動を行う。	
特別支援教育コーディネーター等研修会の実施	○特別支援教育コーディネーター等研修会（中学校・高等学校の教員を対象）を年1～2回開催する。	

運営部名	登下校指導部		
前年度の評価  ◎ 成果 ▼ 課題	<p>◎年度始めの春休みに亀田駅、亀田駅前交番、江南警察などに挨拶回りをし、協力体制作りを行った。</p> <p>◎年度始めに、職員が学校周辺での登下校時の見守り指導を実施した。また、年度始めや長期休業明けには、下校手段や類型ごとに登下校指導を行い、生徒の実態に応じて交通ルールやマナー、事故防止の危機回避等について確認をした。</p> <p>◎学期始めの1ヶ月間は、駅当番が亀田駅で登下校指導を行った。4月は1年生でルールやマナーについて個別指導を行ったが、その後は、トラブルの報告もなく安全に登下校することができた。</p> <p>◎類型の実態に応じて、通学確認カードに、移動支援、行動援護、放課後支援等を記入できるように用紙を変更し確認をしている。</p> <p>◎1年生の1～3組の生徒、及び4～6組で登下校の際に自転車を利用する生徒に対し、自転車安全運転認定検定を実施した。交通安全指導員の方から分かりやすく教えていただき技能の向上を図ることができた。</p> <p>◎自転車損害賠償責任保険の加入を呼び掛け、調査することができた。</p> <p>◎毎学期の始めに、学校周辺の安全マップに基づいて、通学路の安全確認を実施することができた。</p> <p>▼年度始めに、保護者に通学確認カードの確認作業をお願いするが、生徒が登下校を始めてからの確認となるので、2、3年生については、今年度中に確認しておく。</p> <p>▼自転車安全運転認定検定の実施時期について、6月下旬の体育館はとても暑く厳しいものがあつた。自転車への交通意識を高めるためにも、もう少し早い時期での実施を検討していきたい。</p> <p>▼駅当番については引き続き学期始めに行い、4月は1ヶ月間、9月と1月は1週間程度で検討していきたい。</p> <p>▼新入生の通学方法が実態に合ったものとなるように、保護者説明会で単独通学の判断基準をしっかりと示し、入学者説明会で丁寧に説明を行う必要がある。</p>		
運営方針	<p>○登下校指導部員を中心に安全かつマナーよく登下校ができるよう全職員で見守る。</p> <p>○外部の関係機関との連携を積極的に図り、安全に登下校できる体制を作る。</p>		
主な業務内容 <b>【担当者】</b>	<p>○全校登下校指導 <b>【担当者】</b></p> <p>○行方不明者の搜索、緊急時の駅への出動 <b>【担当者】</b></p> <p>○外部関係機関との連絡、訪問 <b>【担当者】</b></p> <p>○通学路の安全確認 <b>【担当者】</b></p> <p>○自転車安全運転講習 <b>【担当者】</b></p> <p>○登下校グッズの作成 <b>【担当者】</b></p> <p>○通学確認カードの確認 <b>【担当者】</b></p> <p>○物品購入 <b>【担当者】</b></p> <p>○ダイヤ改正時の時刻表作り <b>【担当者】</b></p> <p>○乗車名簿の作成 <b>【担当者】</b></p>		
重点目標	評価項目	評 価	
実態にあつた指導体制作り	<p>◎各類型生徒の実態、登下校方法に応じた指導や緊急時の対応を行う。</p> <p>◎警察等、関係機関との連携を図る。</p>		
登下校時のルールとマナー	<p>◎全校一斉下校指導を学期始めに行う。必要に応じて臨時集会や呼びかけを行う。</p> <p>◎駅当番、担任との連携を図り、個別に指導する。</p>		
自転車安全運転認定検定	<p>◎1～3組の生徒、及び4～6組で登下校の際に自転車を利用する生徒に対し、自転車安全運転認定検定を実施する。</p>		

運営部名	保健・安全部	
前年度の評価 ◎成果 ▼課題	◎視覚的支援を中心にした掲示物を作成し、保健室前廊下や教室内に掲示した。学級活動等でも活用し、季節や生徒の実態に応じた指導を継続して行うことができた。 ◎将来の姿を見通し、家庭と情報共有を図りながら、食生活の見直しに努めることができた。 ◎コロナ禍の状況も考慮し、今年度も学級単位での火災、不審者、地震・津波の避難訓練を実施した。各類型の実態に応じた危険回避能力を設定し、生徒に指導・支援しながら取り組むことができた。 ◎使用期限を確認し、学期末と学期の始めに災害時用薬の返却と受け取りを確実に行うことができた。 ▼心と体の発達では、学校内外の専門家の見地も加えて授業に生かし、各類型の生徒の実態に応じた学習を充実する。 ▼安全点検の事後処理が迅速に行われた箇所が多いが、より安全な校地校舎の確保のために、安全点検カードの一部改訂を行う。	
運営方針	○わかりやすく保健指導の内容を提示し、健康・安全に関する知識や態度を養う。 ○心と体の学習に関わる計画、資料の提供・管理に努める。 ○施設の安全管理に努め、防災および災害時の対策を徹底する。 (※火器の管理者が自覚できるよう、火器の存在の確認をしておき、定期的に点検を行う。)	
主な業務内容 【担当者】	○健康教育 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校保健計画</li> <li>・ 学校安全計画</li> <li>・ 心と体の学習計画案取りまとめ・教材の整理</li> </ul> ○生徒、職員の健康管理 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定期及び臨時の健康診断実施計画立案</li> <li>・ 健康診断の事後処理・調査統計</li> </ul> ○救急処置 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緊急事態発生時の対応</li> <li>・ 関係機関との連携</li> <li>・ 救急医薬品、物品の管理</li> <li>・ 救急法の計画・実施</li> </ul> ○保健・安全部の備品、消耗品の取りまとめ発注 ○教務室前掲示板管理 ○防 災 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難訓練の計画、実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>1 学期：火災</li> <li>2 学期：不審者※事後各類型</li> <li>3 学期：地震・津波※事後各類型</li> </ul> </li> <li>・ 寄宿舍は別計画</li> <li>・ 管理責任場所一覧表作成と施設設備の安全点検の実施</li> <li>・ 日程等、関係機関との連絡調整</li> <li>・ 職員研修計画・実施</li> <li>・ 災害時用薬の管理(2 日分)</li> </ul> ◎学校安全衛生委員会（特設委員会）	
重点目標	評価の観点	評価
保健指導の継続的な実践	【運営活動】【教育活動】 分かりやすく保健指導の内容を提示する。	
生活習慣病の予防	【教育活動】 各類型部、寄宿舍、家庭と協力し、指導を進める。	
心と体の学習の充実	【教育活動】 家庭生活の年間指導計画をもとに、指導をする際の資料の充実を図る。	
防災に対する意識の向上	【教育活動】 避難訓練を中心に継続した指導で定着を図る。	

運営部名	視 聴 覚 部															
前年度の評価  ◎ 成果 ▼ 課題	◎毎月の管理箇所点検時に、視聴覚機器の点検を確実に行った。 ◎グラウンドでも使用できるポータブルアンプを購入、整備することができた。 ▼使用頻度が高い機器（BDプレーヤー、三脚等）の不具合・故障があり、計画的に追加・補充をしながら入れ換える必要がある。 ▼DVDプレーヤーやプロジェクターが使用後に元の場所に戻らないことや、リモコンが不明にならないよう管理方法の改善が必要である。															
運営方針	◎視聴覚教育環境の充実を図る。 ○視聴覚機器・教材の整備、保守管理に努める。															
主な業務内容 【担当者】	○視聴覚教育 <ul style="list-style-type: none"> <li>・視聴覚機器・放送機器の整備、保守、点検</li> <li>・視聴覚機器の購入計画の作成と購入</li> </ul> ○学校行事の記録 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事の会場設営記録写真撮影</li> <li>・全校的な集会・学校行事での音響機材操作</li> <li style="padding-left: 40px;">入学式…</li> <li style="padding-left: 40px;">体育祭…</li> <li style="padding-left: 40px;">特体連スポーツ大会</li> <li style="padding-left: 40px;">卒業式…</li> <li>・学校行事の記録ビデオの撮影（定点撮影）</li> </ul> ○ハードの操作方法・授業への生かし方等技能支援（特にappleTV、HDビデオカメラ等の操作とデータ管理・活用方法） ○消耗品の管理 <b>※ 体育祭時、必要であればグラウンド用ラップスピーカーを「ふれあいプラザ」より借用する。（使用1ヶ月前に連絡。予行も含め、1週間程、借用する。）</b>															
重点目標	評価項目	評 価														
視聴覚機器の整備	○視聴覚機器が必要な時にすぐ使えるように、 <u>毎月</u> の安全点検実施にあわせて放送室を中心に点検、整備をする。 <table border="1" data-bbox="534 1433 1157 1758" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 60%;">保管場所</th> <th style="width: 40%;">担当者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教務室放送室内の機器</td> <td></td> </tr> <tr> <td>体育館放送機器</td> <td></td> </tr> <tr> <td>本館 1F 大型テレビ/電子黒板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>本館 2F 大型テレビ/電子黒板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>本館 3F 大型テレビ/電子黒板</td> <td></td> </tr> <tr> <td>新館 大型テレビ/電子黒板</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	保管場所	担当者	教務室放送室内の機器		体育館放送機器		本館 1F 大型テレビ/電子黒板		本館 2F 大型テレビ/電子黒板		本館 3F 大型テレビ/電子黒板		新館 大型テレビ/電子黒板		
保管場所	担当者															
教務室放送室内の機器																
体育館放送機器																
本館 1F 大型テレビ/電子黒板																
本館 2F 大型テレビ/電子黒板																
本館 3F 大型テレビ/電子黒板																
新館 大型テレビ/電子黒板																
放送機器の整備	○放送機器が必要な時にすぐ使えるように、 <u>毎月</u> の安全点検実施にあわせて体育館放送室と本館放送室を点検、整備をする。															

運営部名	情報・広報部（情報）	
前年度の評価 ◎成果 ▼課題	◎ 規定に基づいた情報管理をすることができた。 ◎ 機器の設定や消耗品の補充など各担当が迅速に対応することができた。 ◎ タブレットやICT機器についての規約やガイドラインを作成して運用できた。 ▼ 生徒向けタブレット使用・持ち帰りのルールの策定（生徒指導と連携して） ▼ 県のDX推進やインクトナーの値上がりを考え、紙ベースの校務を見直す必要がある。	
運営方針	○授業や校務においてICT機器を快適に使える環境作りを目指す。	
主な業務内容 【担当者】	○校内情報教育・管理規定の策定、外部アンケート等への回答 ○校務USBの管理、貸出 ○消耗品の購入・プリンタ管理 ○ホームページの管理・更新 ○iPadの管理 ○機器操作等の技能支援（フォーム入力・インストール補助、オンライン設定支援等） ○メール登録関係	
重点目標	評価項目	評価
情報管理規定の徹底	○ネットワーク管理規定（NEIN）・ガイドライン（校内）の周知。 ○個人情報の流失・紛失事件を防ぐように校務USBの管理を行う。	
プリンタなどの維持・管理	○プリンタ等の故障対応や消耗品の購入、補充、ストックの確認を計画的に行う。 ○DXの推進、適切な利用を呼びかける。	
ホームページの更新	○他の分掌と連携を図り、ホームページの更新を行う。	
タブレット型端末の活用	○タブレット型端末活用のための環境整備、提案を行い、UDL、NIE、ICT教育との連携を図る。	

運営部名	情報・広報部（広報）	
前年度の評価 ◎成果 ▼課題	◎ 時期に合わせた紙面内容を心掛け、学校か都度の様子を保護者等に伝わりやすいように工夫することができた。 ◎ オンライン配信やビデオ通話での承諾事項を設け、写真掲載承諾の集約は、年度始めに広報部でとりまとめることができた。	
運営方針	○学校の変化していく様子をより多く家庭に伝わるように配慮する。 ○進路部による「進路通信」の連載で、家庭へ詳しい情報を紹介する。 ○他の運営部や指導部とも連携を図り、必要な情報が適宜伝わるようにする。	
主な業務内容 (担当者)	○学校だより「K o y o」の発行 ○外部から送られるたより等の回覧・保管 ○氏名・写真掲載等のアンケート取り、集約	
重点目標	評価項目	評価
たよりの発行	○年間2回の学校だよりを発行する。	
たよりの内容の充実	○学校だよりの特徴を全面に出すように工夫していく。	

運営部名	給食・庶務部	
前年度の評価  ◎ 成果 ▼ 課題	<p>◎多岐にわたる業務内容であるが、各担当がそれぞれ定期的に点検し、必要に応じ整備、補充を行うことができた。</p> <p>◎清掃関係や給食関係の業務内容を業務支援員の方に依頼したり、生徒の学習活動に取り入れてもらったりしたことで職員の負担が軽減した。</p> <p>◎給食の栄養士の先生や給食委員会と連携して、給食部の仕事ができる。</p> <p>◎各部の会計担当と連絡を密にすることができ、正確な会計処理ができた。</p>	
運営方針	<p>○教育活動のしやすい清潔で安全な環境を保持できるよう努める。</p> <p>○学校給食職員と連携を取りながら、円滑に給食の実施ができるようにする。</p> <p>○各部の会計担当者とは協力し、計画的な各種予算の執行、会計処理の円滑処理ができるようにする。</p>	
主な業務内容 【担当者】	<p>○学習活動費の予算執行・会計処理に関すること</p> <p>○清掃計画に関すること</p> <p>○清掃用具等の配当、補充クリーニング</p> <p>○本館更衣室職員清掃当番表の作成</p> <p>○年度内転入職員の靴箱、ロッカー、机、イスに関すること</p> <p>○職員の執務用品、需用費に関すること</p> <p>○教材、教具等の整備、補充、校内教室表示</p> <p>○給食に関する業務</p> <p>○エプロン、台ふき、便座カバーの洗濯と点検</p> <p>○学協申込み、カタログ回覧</p> <p>○その他申し込み（申し込み注文、注文販売）</p> <p>○校章販売（年間）</p> <p>○年度末の業務、次年度準備に関すること</p> <p>○新入生に関すること（机・椅子サイズ確認等）</p> <p>○落とし物に関すること</p> <p>○本館流し当番表作成・洗剤等消耗品の購入</p> <p>○寄宿舍との情報交換、連絡等</p>	
重点目標	評価項目	評価
清潔で安全な環境の保持	○必要な教具の点検、補充を行い、仕事をしやすい環境を整えたか。	
円滑で計画的な清掃の実施	○清掃に関する計画を立て、必要な物品を準備することにより、円滑な清掃の実施ができたか。	
円滑な給食の実施	○学校給食員と連携を取りながら、円滑に給食の実施ができたか。	
予算の計画的執行 円滑な会計処理	<p>○各部の会計担当者に計画的な予算の執行を呼び掛けることができたか。</p> <p>○定期的な会計帳簿、領収書の点検を行うことができたか。</p>	

# 寄宿舍経営計画

## 1 寄宿舍生の実態

- 個別に支援を工夫することで、基本的な生活習慣が身に付いてきている。
- 起床に課題がある生徒がいる。
- 自分の気持ちや考えを伝える事や友達との関わり方に課題のある生徒がいる。
- 1日の予定を確認して、日課を調整しながら過ごせる生徒がいる。
- 余暇活動を増やすことで、楽しく生活できる生徒がいる。

## 2 目標（寄宿舍で願う「ひとりだち」の姿）

### 【生活訓練グループ】

- (1) 規則正しい生活を通して、基本的な生活習慣の定着を図る。
- (2) 集団生活を通して、コミュニケーションの力を高める。

### 【自立生活グループ】

- (1) 就労及び職業生活に向けて、必要な生活スキルや社会性の向上を目指す。
- (2) 自ら考え、主体的に生活する力を育てる。

## 3 運営の方針

### (1) 生徒支援

- ① 日常の様子を観察し、細やかな実態把握に努める。
- ② 生徒の願いや思いを丁寧に聞き取るように努める。
- ③ 実態に応じた個別指導と生徒の良さを伸ばすような指導を実施する。
- ④ 問題が生じた時は関係部署と連携し、迅速に対応する。

### (2) 保護者との連携

- ① 連絡帳、懇談会、たより、行事を通して生活教育の理解が深まるように、寄宿舍の計画などの丁寧な伝達や保護者の願いを尊重した聞き取りを行うことで、連携した支援が継続できるように努める。

### (3) 生活支援

#### 【生活訓練グループ】

- ① 生徒の実態に応じて、卒業後の生活につながる取組や支援、指導を充実させる。
- ② 集団生活を通して、マナーやルールを守りながら生活できるように支援を進める。

#### 【自立生活グループ】

- ① 買い物など実体験できる活動を多く設け、卒業後の生活に直結する取組や支援、指導を充実させる。
- ② 各指導の中にグループミーティングの機会を多く設定し、コミュニケーション能力の向上を図る。

### (4) 職員の連携

- ① 寄宿舍会議、舍務会議、連絡会、棟・類型会議などで生徒の実態把握や支援に関する共通理解を図る。

#### 4 行事等

月	保護者関係	舎生関係	生活指導		生活訓練グループ	自立生活グループ
			安全指導	棟指導		
4		・入舎歓迎会 ・代表委員選出	・避難訓練① ・安全指導	・生活指導（オリエンテーション）	・グループミーティング	・生活指導（日課について）
5		・舎生全体会① ・任命式				
6		・代表委員会①			・特設指導 ・江南マート（模擬店）	
7	・PTA寄宿舎まつり ・保護者個人懇談会	・PTA寄宿舎まつり ・代表委員会②		・生活指導（夏休みの生活）	・江南レンタル ・校外活動	・校外活動（日用品購入） ・グループミーティング（1学期振り返り）
8						
9		・舎生全体会② ・代表委員会③	・避難訓練②		・校外活動	・校外活動（自由間食購入）
10	・寄宿舎個別の指導計画配布	・代表委員会④			・特設指導 ・江南レンタル	
11		・ＹＯＹＯ祭 ・代表委員会⑤			・江南マート（模擬店）	・校外活動（日用品購入）
12	・保護者個人懇談会	・代表委員会⑥	・冬季登下校指導	・生活指導（冬休みの生活）	・特設指導	・グループミーティング（2学期振り返り）
1		・舎生全体会③ ・代表委員会⑦	・避難訓練③		・江南マート（模擬店）	
2	・おわかれ会	・おわかれ会 ・代表委員会⑧				・グループミーティング（年間振り返り）
3	・寄宿舎個別の指導計画配布					
備考		○舎生会余暇活動（随時） ○誕生日会 ・誕生日ごとに実施 ○係活動・間食準備、片付け ・メニュー書き ・配膳、清掃当番 ・新聞綴じ等	○避難訓練事前指導 ○安全指導（適宜） ○グループワーク（安全）	○生活指導（適宜） ・基本的生活習慣 ・社会生活・余暇 ・生活管理	○生活指導（適宜） ・舎生の実態に応じて内容や指導方法を検討する。	○グループミーティング（随時） ○生活指導（随時） ○一人暮らし体験（随時）

#### 5 日課

時間帯	日課
6：30～	・起床・洗面・身支度・清掃・洗濯
7：30～8：00	・配膳・朝食
8：00～	・食堂掃除・歯磨き・着替え・登校準備
8：50	・登校
15：45	・下校
15：45～	・着替え・身の回りの整理整頓・間食・歯磨き ・自由時間・入浴・洗濯
18：00～18：30	・配膳・夕食
18：30～	・食堂清掃・歯磨き・入浴・洗濯・学習 ・自由時間・就寝準備
21：00～	・就寝

## 6 各分掌の運営

運営部名	＜寄宿舎＞ 総務部	
前年度の評価 ◎ 成果 ▼ 課題	<p>◎舎務会議、校内支援会議、ケース会議等で、舎監、類型主任、学級担任、生徒指導主事、進路指導主事と連携しながら情報共有し、生徒支援に努めることができた。</p> <p>◎類型別指導を行い、卒業後に向けた生活力の定着を図ることができた。</p> <p>◎環境整備では関係部署と連携し感染症対策を行い、生徒の安心安全につなげることができた。</p> <p>◎生徒の課題や実態について共通理解を図り、一人一人に合わせた支援を行うことができた。</p> <p>◎分掌組織の見直しを行い、業務内容を精選した。</p> <p>▼「PTA寄宿舎まつり」について、保護者と連携し日程・内容・支援等を検討していく。</p> <p>▼舎生数確保のため具体的な計画を立案し、各類型と連携して取り組む。</p>	
運営方針	<p>○教育計画の達成を目指した寄宿舎経営の推進に努める。</p> <p>○寄宿舎の教育活動が円滑に行われるよう、各棟、各分掌との連絡・調整に当たる。</p> <p>○学部、保護者との連携・調整に当たる。</p> <p>○学校の運営部との連携・調整に当たる。</p>	
主な業務内容 【担当者】	<p>○寄宿舎運営、緊急時対応、生徒指導対応</p> <p>○教育計画、経営計画、会議日設定、月暦</p> <p>○入舎、退舎、舎室編制、教育相談</p> <p>○保護者会、舎だより</p> <p>○予算（県費・PTA）</p> <p>○学校運営部との連携</p> <p>○勤務に関すること</p> <p>○公用簿の管理</p> <p>○施設設備の整備保全</p>	
重点目標	評価項目	評価
会議・連絡会の合理化	○会議資料や連絡などをデータ化することで、業務の効率化を図る。	
安全な環境の保持・改善	○事務や安全防災部と連携し、施設設備を早期に点検・整備をする。	
学校・保護者との連携	○類型部や関係部署と連携を密にし、連絡の徹底を図る。	
	○寄宿舎個人懇談会、保護者会を実施し、理解と協力を得る。	

運営部名	＜寄宿舎＞ 情 報 研 修 部	
前年度の評価  ◎ 成果 ▼ 課題	◎学校研修テーマに沿って、研究推進部と連携して職員研修を行い、また必要に応じて寄宿舎研修も計画、実施した。舎生に実態や支援方法について、職員間で理解を深めることができた。 ◎個別の指導計画作成の効率化を図るため、目標を項目毎にまとめた一覧表を作成した。目標設定の際に活用したことで、職員間で表記を統一することができた。 ◎キャリア教育について研修を実施したことで、寄宿舎教育の重要性を再確認することができ、また日々の支援を見直す良い機会になった。キャリア教育プログラムについても、学校の書式を統一し、現状にあった内容に変更することができた。 ◎進路指導部と連携し、施設見学を実施することができた。舎生の卒業後の姿を具体的にイメージできたことで、日々の支援に反映させることができた。 ▼年間を通して定期的に研修日を設定できるよう、見直しをもった計画を立てる。 ▼個別の指導計画の目標の内容が、現在の舎生の実態に合っているものか、検討を続けていく必要がある。	
運営方針	○情報関係機器を適性に利用できる環境を整える。 ○様々な研修を通して、職員の知識の習得及び支援、指導のスキル向上を図る。 ○「寄宿舎個別の指導計画」の充実、及び活用推進をする。 ○各運営部、指導部との連携を密にし、円滑な業務の推進に努める。	
主な業務内容 <b>【担当者】</b>	○寄宿舎研修計画の企画・提案・実施 ○寄宿舎指導員研修の連絡・調整 ○道徳及び人権、同和教育、いじめに関する研修の連絡・調整 ○寄宿舎個別の指導計画の充実 ○UDL・NIE・FG・ICTの活用 ○情報・広報部、研究推進部、総合指導部との連携	
重点目標	評価項目	評 価
研修の充実	○寄宿舎の各類型に必要な支援・指導の方法を検討し、精度の高い寄宿舎教育を提供できるような研修を充実させる。 ○夏季休業中に施設見学を含め、全体研修を立案、実施する。	
寄宿舎個別の指導計画の充実	○個別の指導計画を作成し、日々の指導に活用する。 ○通知表の配布に合わせ、保護者に開示する。	
各運営部・指導部との連携	○各運営部との連携を密にし、連絡の徹底を図る。 ○各指導部と連携し、研修計画を立案、実施する。	

運営部名	＜寄宿舍＞ 庶務会計部	
前年度の評価  ◎ 成果 ▼ 課題	<p>◎会計処理の手続き内容が多岐にわたるが、業務ごとに複数名でチェックし、寄宿舍主任・管理職にも確認をしてもらいながら適切に会計処理を行うことができた。</p> <p>◎学校栄養士・食事委託業者、間食関連業者と密に連携することで、適切に食事・間食を提供することができた。</p> <p>◎間食提供は庶務会計部員内で分担し円滑に行うことができた。契約業者と連携し、確実に受け渡しが行えるよう日程調整や連絡を行った。</p> <p>▼諸経費の運用については、今後の情勢に応じて柔軟に対応していく。</p> <p>▼必要な用具の点検、補充を行い、職員の要望を取り入れながら定期的に環境を整備していく。</p>	
運営方針	<p>○寄宿舍の生活環境整備に努める。</p> <p>○寄宿舍業務を円滑に遂行できるよう、各会計業務を適切に行う。</p> <p>○学校栄養士及び食事委託業者、間食関連業者との連携に努め、業務を円滑に行う。</p>	
主な業務内容 【担当者】	<p>○清掃計画、清掃用具の配当と補充、寝具に関すること</p> <p>○舎費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会計事務</li> <li>・物品購入及び管理</li> <li>・各棟、各分掌との連絡調整</li> </ul> <p>○舎食会計</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会計事務</li> <li>・食数把握及び食事委託業者及び関係機関との連絡調整</li> <li>・調理員休憩室内物品管理</li> </ul> <p>○間食会計</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会計事務</li> <li>・間食関連業者との連絡調整</li> <li>・食堂内及び間食関係物品管理</li> </ul>	
重点目標	評価項目	評価
計画的な清掃の実施	○清掃に関する年間計画を立て、適切な時期に実施することができる。	
会計事務の適切な遂行	○各会計業務を複数で確認し、適切に管理運営する。	
学校栄養士及び委託業者との連携	<p>○「検食カード」に具体的な内容を記入し、委託業者との連携を図る。</p> <p>○委託業務との担当者会議を開催し、生徒の様子や業務内容について共通理解を図る。</p>	
適切な間食の提供	<p>○生徒の希望を取り入れながら、季節や栄養に配慮した間食を提供する。</p> <p>○検食の実施と衛生管理を徹底する。</p>	

指導部名	＜寄宿舎＞ 自治指導部	
前年度の評価	<p>◎係活動については生徒の実態に応じて、活動の内容や役割分担を学期ごとに見直しを図ったことで、活動への意欲や自主性を高め、より意欲的、主体的に行動する様子が見られるようになった。</p> <p>◎感染症対策に配慮しながら、寄宿舎まつりや舎生会主催のお楽しみ会を実施することができた。また、個々の事情により当日行事に参加できなかった生徒についても、事前準備や ICT の活用を通して、生徒全員が行事に携わり活躍する機会を設け積極的な行事への参加を促すことができた。</p> <p>◎誕生会に合わせて誕生者の紹介をポスター掲示したことで、生徒が仲間に興味を持ち、自主的に祝いする気持ちを高めることに繋がった。</p> <p>▼来年度の舎生数を考慮すると、舎生会、代表委員会の存続が大きな課題となる。自治行事全体の計画や活動内容をより柔軟に、実態に応じた見直しが必要。</p> <p>▼誕生会については計画の見直しを図り、より生徒が主体となって誕生者をお祝いできる計画内容の拡大を目指す必要がある。</p> <p>▼「みんなで盛り上がる活動」については、他の行事や指導日が立て込む兼ね合いから年間行事予定を踏まえた計画的な実施を目指す必要がある。</p>	
指導のねらい	<p>○様々な活動を通して、舎生が主体的に取り組むことができるように支援する。</p> <p>○行事を通して舎生が楽しく参加することができるように支援する。</p> <p>○寄宿舎内の物品を整備し、活用しやすいように工夫する。</p>	
主な業務内容 【担当者】	<p>○舎生会に関する指導、支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・代表委員会、舎生全体会の計画、実施</li> <li>・係活動の計画、実施</li> <li>・みんなで盛り上がる活動の計画、実施</li> <li>・誕生会の計画、実施</li> </ul> <p>○行事の計画、実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入舎歓迎会</li> <li>・お楽しみ会</li> <li>・寄宿舎まつり</li> <li>・おわかれ会</li> </ul> <p>○寄宿舎大掲示板の管理</p> <p>○YOYO 祭展示準備</p> <p>○学校掲示板の管理、活用</p> <p>○物品の管理と購入</p>	
重点目標	評価項目	評価
舎生会活動の指導、支援	<p>○代表委員会では舎生が互いに意見を交わし、協力して活動できるように雰囲気作りを工夫する。</p> <p>○一人一人が役割をもち、自信をもって取り組める仕事内容を設定する。</p>	
行事の計画、実施	<p>○舎生や保護者の意見を聞きながら、楽しく参加できるような行事を計画、実施する。</p> <p>○舎生の様子にあわせた誕生会を実施し、お互いに誕生を祝う気持ちを育てる。</p>	
物品の購入、管理	<p>○文具やCD等、物品について定期的に確認し、必要に応じて購入、入れ替えをする。</p> <p>○遊具を収納する入れ物や置き場所を見直し、舎生が手に取りやすいように工夫する。</p>	

指導部名	＜寄宿舎＞ 安全防災部	
前年度の評価  ◎ 成果 ▼ 課題	<p>◎安全指導年間計画の指導項目に沿って、各棟、類型と連携し、安全指導を適切に実施できた。安全指針マニュアルを参照し、防災や安全の意識向上に努めた。</p> <p>◎避難訓練や保健・安全指導を計画的に実施することができた。安全に関するグループワークを行うことで、けがや事故防止の意識付けを図ることができた。</p> <p>◎防災意識向上のため、職員防災研修、及び、救急法講習会を開催し、非常時の救急対応と体制を確認し、共通理解を図ることができた。</p> <p>◎養護教諭と連携を図り、体調不良や怪我の対応、服薬や医療用品の管理を徹底し、生徒の健康管理を行うことができた。</p> <p>▼より生徒の実態や課題に応じた保健・安全指導が実施できるよう、棟や類型と連携を取り合い、指導内容を工夫する。</p> <p>▼職員の防災に関する知識向上のため、必要に応じて、防災研修や救急法講習会など計画し、研修内容を充実させる。</p>	
指導のねらい	<p>○安全指導を充実させ、「ひとりだち」に向けた指導の推進に努める。</p> <p>○施設設備の安全管理に努め、防災及び災害に対する意識を高める。</p> <p>○学校、養護教諭とも連携し、感染症予防に対する意識を高める。</p> <p>○学校、各類型との連携を密にし、指導の充実を図る。</p>	
主な業務内容 【担当者】	<p>○各類型との連携</p> <p>○安全指導・管理 ・避難訓練の計画立案と実施 [火災、地震・津波・液状化、不審者] ・安全指導の推進 ・安全関係業務 [寄宿舎防災計画の立案、施設設備の安全点検、防災用品の管理] ・関係機関との連携 (消防署・警察署、新潟総合警備保障、日本サーモエナー、双峰通信工業)</p> <p>○保健指導・管理 ・保健に関する指導計画の立案と実施 ・保健関係業務 [配薬・服薬チェック表の作成、医薬品の管理等]</p> <p>○学校運営部等との連携 ・保健安全指導部との連携 ・学校保健委員会への参加</p>	
重点目標	評価項目	評 価
一人一人の課題に応じた安全指導の充実	<p>○ひとりだちに向けた指導内容を精選し、分かりやすい指導方法、形態の工夫をする。</p> <p>○生徒の実態や課題に応じて、棟・類型との連携も強化する。</p>	
防災に関する意識の向上	<p>○避難訓練を中心に、登下校や舎内の危険箇所の注意喚起など、安全面での意識の向上を図る。</p> <p>○施設設備の異常の早期発見に努め、異常時は迅速に対応する。</p>	
保健指導の充実及び管理	<p>○養護教諭との連携を密にし、生徒の健康管理に努めるとともに、医薬品類の管理を徹底する。</p> <p>○感染症対策の随時注意喚起を行い、必要な物品の補充に努める。</p>	

# 9 江南高等特別支援学校寄宿舎 キャリア教育プログラム

令和4年度改訂版

		観点	生活訓練グループ			
			重点項目	めざす姿	具体的な場面・取組(◇場面、◆取組)	
基礎的・汎用的能力	人間関係・社会形成能力	○自己理解、 他者理解 ○集団参加、 協力、協同 ○意思表示 ○挨拶、返事 ○清潔、身だし なみ ○場に応じた 言動	○集団参 加、協力、 協同 ○場に応じ た言動	○ルールやマナーを尊重して、集 団生活やさまざまな活動に参加す ることができる。	◇余暇活動、舎生会活動、棟活動、係活動、 ◆外出活動、日用品購入、江南マート、江南生協	
		○挨拶、返 事 ○清潔、身だ しなみ ○場に応じた 言動	○挨拶、返 事	○適切な言葉遣いで返事や挨拶を することができる。	◇日常生活場面(起床/登下校/就寝)、余暇活動、舎 生会活動、代表委員会、棟活動、係活動	
		○清潔、身 だしなみ	○清潔、身 だしなみ	○身だしなみを整え、体を清潔に 保つことができる。	◇日常生活場面(起床/登校)、入浴(洗髪/洗体)、洗 面(洗顔/整髪/ひげそり/歯磨き)	
	自己理解・自己管理能力	○長所、短所 の理解 ○職業適性の 理解 ○責任感 ○自律 ○心理的な安 定 ○障害の理解	○心理的な 安定  ○自律	日課に沿って穏やかに過ごすこと ができる。  ○規則正しい生活をすることがで きる。	日常生活場面(食事/睡眠/排泄/体調管理)、余暇活 動  ◇日常生活場面(食事/睡眠/排泄/体調管理)	
		課題対応能力	○興味、関 心 ○環境への適 応 ○主体性 ○変化対応 ○改善 ○向上心 ○遂行	○興味、関 心  ○主体性  ○環境への 適応	○自分の好きなことややりたいこ とを見つけ、実践することができる。  ○様々な場面で、主体的に取り組 むことができる。  ○決められた日課に合わせて生活 することができる。	◇日常生活場面、舎生会活動、棟活動、係活動 ◆外出活動  ◇日常生活場面、余暇活動、舎生会活動、棟活 動、係活動 ◆外出活動、江南マート、江南生協  ◇日常生活場面、余暇活動、舎生会活動、棟活 動、係活動
	キャリアプランニング能力		○働くことへ の興味、関 心 ○役割の理解 ○自己の生き 方を考える ○情報収集、 活用 ○働くことの 意義 ○学ぶことの 意義	○役割の理 解	○決められた仕事や係活動に確実 に取り組むことができる。	◇舎生会活動、棟活動、係活動

	観点	自立生活グループ			
		重点項目	めざす姿	具体的な場面・取組(◇場面、◆取組)	
基礎的・汎用的能力	人間関係・社会形成能力	○自己理解、他者理解 ○集団参加、協力、協同 ○意思表示 ○挨拶、返事 ○清潔、身だしなみ ○場に応じた言動	○集団参加、協力、協同	○集団生活を通して、異年齢や多様な他者と場に応じたコミュニケーションをとることができる。	◇余暇活動、舎生会活動、代表委員会、棟活動、係活動 ◆買い物活動(日用品・衣類・間食)
		○清潔、身だしなみ	○身だしなみや清潔面に気を付け、健康的に生活することができる。	◇日常生活場面(起床/登校)、入浴(洗髪/洗体)、洗面(洗顔/整髪/ひげそり/歯磨き) ◆整理整頓(タンス/三段ボックス)、洗濯、清掃	
	自己理解・自己管理能力	○長所、短所の理解 ○職業適性の理解 ○責任感 ○自律 ○心理的な安定 ○障害の理解	○自律	○自分で選んだことや行動したことには、自分で責任をもつことができる。	◇日常生活場面、舎生会活動、行事、代表委員会、棟活動 ◆一人暮らし体験
		○心理的な安定	○心理的な安定	○体調管理に意識を持ち、健康的に生活することができる。	◇日常生活場面(食事/睡眠/排泄/体調管理) ◆一人暮らし体験
課題対応能力	○興味、関心 ○環境への適応 ○主体性 ○変化対応 ○改善 ○向上心 ○遂行	○興味、関心	○余暇の幅を広げ、様々な活動を主体的に楽しむことができる。	◇日常生活場面、余暇活動、棟活動、舎生会活動 ◆外出活動	
		○主体性	○困難な課題や苦手なことに対して、最後まで取り組むことができる。	◇日常生活場面、余暇活動、舎生会活動・行事、代表委員会、棟活動、係活動	
キャリアプランニング能力	○働くことへの興味、関心 ○役割の理解 ○自己の生き方を考える ○情報収集、活用 ○働くことの意義 ○学ぶことの意義	○学ぶことの意義	○将来設計に基づいて、必要な生活スキルや活動の意義を理解する。	◇日常生活場面、余暇活動、舎生会活動、棟活動、係活動、 ◆外出活動、日用品・衣類・間食購入、調理活動、一人暮らし体験	

## VI 生徒の概要

### 1 生徒数

	職業	男	女	普通	男	女	重複障害	男	女	全体	男	女
1年	20	14	6	24	16	8	3	1	2	47	31	16
2年	19	13	6	31	22	9	4	3	1	54	38	16
3年	19	13	6	30	19	11	1	0	1	50	32	18
合計	58	40	18	85	57	28	8	4	4	151	101	50

### 2 出身学校別人数

		特別支援学級	特別支援学校	合計
1年	職業	20	0	20
	普通	13	11	24
	重複	0	3	3
2年	職業	19	0	19
	普通	18	13	31
	重複	0	4	4
3年	職業	19	0	19
	普通	17	13	30
	重複	0	1	1
合計		106	45	151

### 3 通学・入舎別人数

		通学	入舎	合計
1年	職業	20	0	20
	普通	24	0	24
	重複	3	0	3
2年	職業	17	2	19
	普通	31	0	31
	重複	4	0	4
3年	職業	17	2	19
	普通	23	7	30
	重複	1	0	1
合計		140	11	151

### 4 居住地域別人数

	1年	2年	3年	合計
新潟市	47	54	50	151
他の市町村	0	0	0	0
合計	47	54	50	151

### 5 通学の状況

		電車	バス	自転車	徒歩	送迎	合計
1年	職業	17	1	2	0	0	20
	普通	9	3	2	2	8	24
	重複	0	0	0	0	3	3
2年	職業	14	0	3	2	0	19
	普通	8	3	5	2	13	31
	重複	0	0	0	0	4	4
3年	職業	17	2	0	0	0	19
	普通	11	2	0	1	16	30
	重複	0	0	0	0	1	1
合計		76	11	12	7	45	151

## VII 職員構成

職名	校長	教頭	教諭	養護教諭	実習助手	寄宿舎指導員	講師	非常勤講師	介助員	事務長	庶務係長	学校事務嘱託員	学校技術員	給食業務職員	就業促進C	業務補助員	学校看護師	合計
計	1	1	53	1	2	12	3	1	2	1	1	1	2	1	1	3	1	87

## Ⅷ センターとしての役割

新潟県立江南高等特別支援学校

# 地域支援活動のご案内



### 相談支援

<内容>

- 受検に関わること等の進路相談・教育相談
- 関係機関等についての情報提供

### 研修支援

<内容>

- 校内研修やPTA研修会等の講師
- 小集団での学習会やケース会議等のアドバイザー



### 学校見学等の学校紹介

<内容>

- 学校見学、授業参観等（随時）
- 学校説明会
  - ・当該年度末に中学校・中学部を卒業する生徒、保護者対象⇒年1回：6月（午前）  
教職員対象⇒年1回：6月（午後）
  - ・中学校・中学部1・2年生の生徒、保護者対象⇒年1回：11月（午前）

### 特別支援教育コーディネーター等研修会の実施

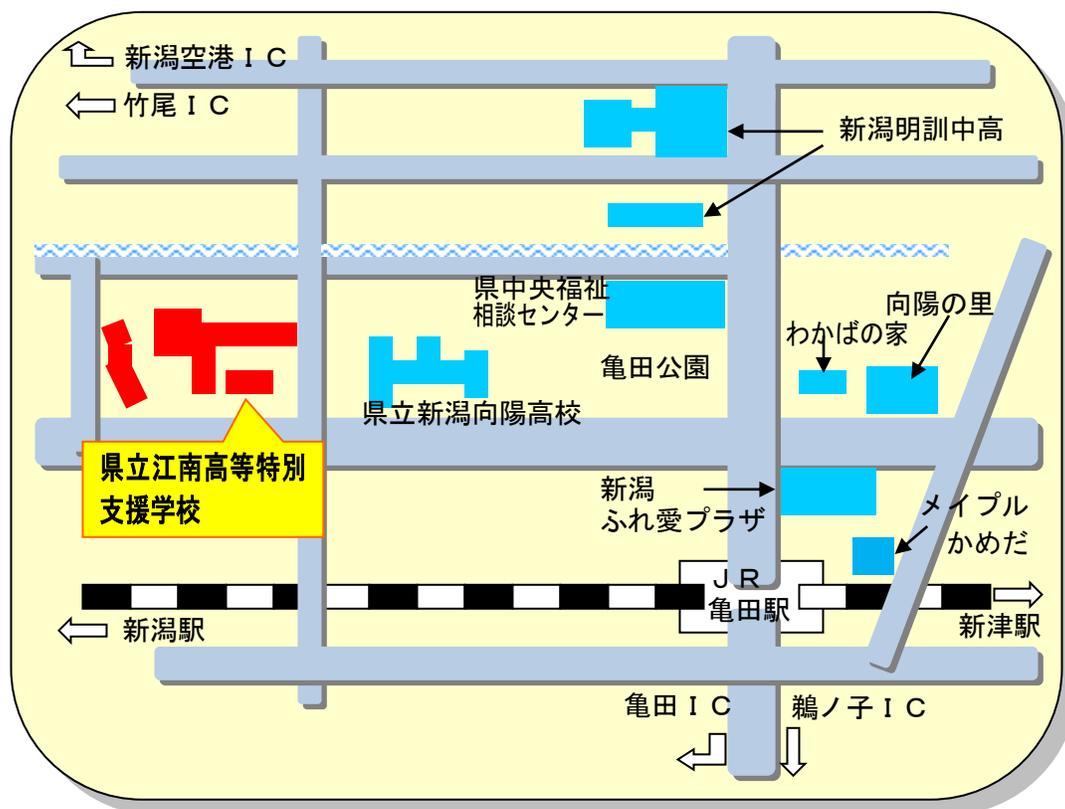
<内容>

- 特別支援教育コーディネーター等研修会の開催  
（中・高等学校教員向け／年1～2回）

## 新潟県立江南高等特別支援学校

〒950-0116 新潟市江南区北山 1510  
TEL 025-381-0077 FAX 025-381-0600  
E-mail [school@konan-tk.nein.ed.jp](mailto:school@konan-tk.nein.ed.jp)

# 学校案内図



○J R 利 用 …信越線「亀田駅」下車、東口より徒歩約10分

○バ ス 利 用 …「福寿団地」バス停留所下車、徒歩約7分

○自家用車利用…国道49号線亀田バイパス

鶴ノ子インター→亀田駅交差点(右折)→ゆきよし跨線橋→当校 約10分

## 新潟県立江南高等特別支援学校

住所 〒950-0116 新潟市江南区北山1510

電話 【学 校】025-381-0077 (代表)

【寄宿舍】025-381-0500

FAX 025-381-0600

URL <http://www.konan-tk.nein.ed.jp/>

E-mail [school@konan-tk.nein.ed.jp](mailto:school@konan-tk.nein.ed.jp)

令和5年度  
校舎図

